

令和5年度 釧路市標準学力検査 ～結果と指導改善のポイント～ 令和6年3月 釧路市教育委員会

◆実施状況

1 検査の目的

- (1) 児童生徒の学力の現状や課題を、全市的な規模で的確かつ客観的に把握・分析することによって、学力向上に関する教育施策の成果と課題を検証し、より効果的な改善を図る。
- (2) 各学校が目標値及び市の状況との関係において、自校における学力向上に関する教育活動の成果と課題を分析し、学習指導の工夫・改善を図る。
- (3) 各学校において、児童生徒一人一人の学力の定着状況を的確に把握し、指導に生かすとともに、補充的指導や個に応じたきめ細かな指導の充実を図る。

2 実施内容及び対象学年

(1) 教科に関する検査

実施教科は、国語、算数・数学の2教科とする。なお、出題範囲は、該当学年の概ね11月までの学習内容とする。

① 釧路市立の小・中学校及び義務教育学校の原則として以下の学年の全児童生徒を対象とする。

- (ア) 小学校 第3・4・5・6学年
- (イ) 中学校 第1・2学年
- (ウ) 義務教育学校 第3・4・5・6・7・8学年

② 特別支援学級に在籍している対象児童生徒における検査の実施については、各学校の判断により、以下のとおり取り扱うことを可能とする。

- (ア) 児童生徒の障害の種類や程度に応じて、検査時間の延長、別室の設定などの配慮をすること。
- (イ) 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒や、知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒は、原則として検査対象としないこと。

(2) 生活行動・学習活動調査

上記①、②のうち以下の学年の児童生徒を対象とし、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する意識調査を実施する。

- (ア) 小学校 第6学年
- (イ) 中学校 第1・2学年
- (ウ) 義務教育学校 第6・7・8学年

3 実施校数

釧路市立学校（小学校25校，中学校14校，義務教育学校1校）

4 実施人数

対象学年	在籍者数	受検者数			受検率		
		国語	算数・数学	生活・学習	国語	算数・数学	生活・学習
小学校3年生及び義務教育学校3年生	999人	933人	936人		93.4%	93.7%	
小学校4年生及び義務教育学校4年生	1027人	957人	954人		93.2%	92.9%	
小学校5年生及び義務教育学校5年生	1045人	966人	968人		92.4%	92.6%	
小学校6年生及び義務教育学校6年生	1128人	1031人	1032人	1019人	91.4%	91.5%	90.3%
小学校計	4199人	3887人	3890人	1019人	92.6%	92.6%	90.3%
中学校1年生及び義務教育学校7年生	1106人	930人	926人	923人	84.1%	83.7%	83.5%
中学校2年生及び義務教育学校8年生	1110人	887人	885人	882人	79.9%	79.7%	79.5%
中学校計	2216人	1817人	1811人	1805人	82.0%	81.7%	81.5%

I 本市の状況 ～概要～

各学年・教科の平均正答率の状況

(1) 小学校及び義務教育学校前期課程

単位 (%)

学 年	教 科	釧路市	全国平均	同一集団前年度からの伸び (*)	全国平均比較
3 年生	国 語	70.7	68.4	未実施	+2.3
	算 数	74.4	69.9	未実施	+4.5
4 年生	国 語	68.1	64.2	+4.2	+3.9
	算 数	67.5	64.8	+2.1	+2.7
5 年生	国 語	75.9	69.9	+3.7	+6.0
	算 数	63.8	58.3	+5.7	+5.5
6 年生	国 語	66.9	66.6	-2.7	+0.3
	算 数	73.3	73.8	-1.4	-0.5

(2) 中学校及び義務教育学校後期課程

単位 (%)

1 年生	国 語	59.7	62.0	-0.5	-2.3
	数 学	51.1	53.7	-1.3	-2.6
2 年生	国 語	65.4	67.8	-2.9	-2.4
	数 学	48.7	50.1	-1.2	-1.4

* 「同一集団前年度からの伸び」は、同一集団における昨年度 (R4) の「全国平均比較」と今年度 (R5) の「全国平均比較」を比較して、どれだけ伸びたのかを示したものです。

2 観点別平均正答率の状況

正答率が全国平均に対し、+5ポイント以上の場合：☆☆，+5ポイント未満+3ポイント以上の場合：☆，
-3ポイント未満-5ポイント以上の場合：★，-5ポイント未満の場合：★★と表記しています。

(1) 小学校及び義務教育学校前期課程

①観点別

単位 (%)

教科	観点	小学校	3年生	4年生	5年生	6年生
国語	知識・技能	釧路市	72.9	69.3	☆☆ 74.2	63.7
		全国平均	70.9	67.5	67.9	62.5
	思考・判断・表現	釧路市	63.9	☆☆ 62.1	☆☆ 73.9	69.2
		全国平均	61.1	55.2	66.6	69.1
	主体的に学習に取り組む態度	釧路市	☆ 58.9	☆☆ 57.1	☆☆ 71.8	☆ 65.0
		全国平均	54.5	44.6	59.6	61.9
算数	知識・技能	釧路市	☆ 79.2	73.0	☆ 71.0	79.9
		全国平均	75.4	70.3	66.3	80.1
	思考・判断・表現	釧路市	☆☆ 57.2	55.7	☆☆ 50.6	56.5
		全国平均	50.3	53.3	43.6	57.5
	主体的に学習に取り組む態度	釧路市	☆☆ 63.8	☆☆ 51.7	☆☆ 49.5	62.2
		全国平均	56.4	45.5	37.3	61.5

②基礎・活用

単位 (%)

教科	観点	小学校	3年生	4年生	5年生	6年生
国語	基礎	釧路市	78.0	☆ 72.7	☆ 79.6	66.1
		全国平均	75.8	68.7	75.2	66.2
	活用	釧路市	55.2	☆ 59.4	☆☆ 67.4	68.3
		全国平均	52.8	55.8	57.7	67.3
算数	基礎	釧路市	☆ 81.7	71.9	☆ 70.0	78.0
		全国平均	78.5	69.6	66.4	79.2
	活用	釧路市	☆☆ 63.8	☆ 60.4	☆☆ 48.6	63.0
		全国平均	57.5	57.3	38.5	61.9

(2) 中学校及び義務教育学校後期課程

①観点別

単位 (%)

教科	観点	中学校	1年生	2年生
国語	知識・技能	釧路市	52.5	68.7
		全国平均	53.6	70.2
	思考・判断・表現	釧路市	★ 62.5	★ 59.6
		全国平均	65.6	62.9
	主体的に学習に取り組む態度	釧路市	★ 56.2	★ 46.9
		全国平均	60.0	50.6
数学	知識・技能	釧路市	55.9	54.7
		全国平均	58.6	55.6
	思考・判断・表現	釧路市	39.0	35.4
		全国平均	41.0	37.9
	主体的に学習に取り組む態度	釧路市	41.8	31.8
		全国平均	44.1	34.1

②基礎・活用

単位 (%)

教科	観点	中学校	1年生	2年生
国語	基礎	釧路市	61.0	71.0
		全国平均	62.9	73.4
	活用	釧路市	57.3	54.2
		全国平均	60.2	56.7
数学	基礎	釧路市	56.2	54.4
		全国平均	59.1	55.4
	活用	釧路市	35.9	31.8
		全国平均	37.3	34.1

3 領域別平均正答率の状況

正答率が全国平均に対し、+5ポイント以上の場合：☆☆、+5ポイント未満+3ポイント以上の場合：☆、
-3ポイント未満-5ポイント以上の場合：★、-5ポイント未満の場合：★★と表記しています。

(1) 小学校及び義務教育学校前期課程

単位 (%)

	国語	言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと		書くこと		読むこと	
三年生	釧路市	79.9	49.8	☆	59.9	☆☆	69.2		63.7	
	全国平均	77.5	49.0		56.9		62.2		63.9	
	算数	数と計算	図形		測定					
	釧路市	☆ 73.3	☆ 69.6	☆☆	80.3					
	全国平均	69.5	65.8		73.7					
四年生	国語	言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと		書くこと		読むこと	
	釧路市	75.2	43.7	★	86.0	☆	57.2	☆☆	65.8	63.8
	全国平均	73.0	41.4		90.8		52.7		46.5	63.1
	算数	数と計算	図形		変化と関係		データの活用			
	釧路市	70.0	☆ 67.2		73.3	☆	49.2			
全国平均	68.0	62.9		75.8		45.4				
五年生	国語	言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと		書くこと		読むこと	
	釧路市	☆☆ 81.1	☆☆ 47.4		52.0		72.3	☆☆	78.0	☆ 70.6
	全国平均	75.0	37.2		50.7		69.6		64.1	67.5
	算数	数と計算	図形		変化と関係		データの活用			
	釧路市	☆ 66.0	☆☆ 71.3	☆☆	49.3	☆☆	49.1			
全国平均	62.6	65.7		39.1		35.3				
六年生	国語	言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと		書くこと		読むこと	
	釧路市	64.2	57.6		70.8		73.4	☆	71.1	65.1
	全国平均	62.9	55.3		73.1		75.3		67.6	67.6
	算数	数と計算	図形		変化と関係					
	釧路市	74.3	77.3	★★	58.0					
全国平均	73.8	77.2		64.4						

(2) 中学校及び義務教育学校後期課程

単位 (%)

	国語	言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと		書くこと		読むこと	
一年生	釧路市	59.4	38.1	★★	20.0		85.4	★	54.1	60.7
	全国平均	59.7	40.1		25.4		87.7		57.8	63.6
	数学	数と式	図形		関数					
	釧路市	★ 49.5	69.2		46.5					
	全国平均	52.9	69.1		48.5					
二年生	国語	言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと		書くこと		読むこと	
	釧路市	77.7	50.1		63.5		73.8	★★	47.5	66.8
	全国平均	78.3	52.8		66.3		73.0		53.4	69.0
	数学	数と式	図形		関数					
	釧路市	★ 43.5	62.1		47.4					
全国平均	46.9	64.4		46.7						

<領域別平均正答率 全体的な傾向>

- ・ 小学校の国語では、「書くこと」の領域において正答率が高い傾向にあるが、中学校では、「書くこと」の領域において正答率が低い傾向が見られる。
- ・ 小学校の算数では、「数と計算」の領域において正答率が高い傾向にあるが、中学校では、「数と式」の領域において正答率が低い傾向が見られる。

4 問題の内容別平均正答率の状況

正答率が全国平均に対し、+5ポイント以上の場合：☆☆、+5ポイント未満+3ポイント以上の場合：☆、-3ポイント未満-5ポイント以上の場合：★、-5ポイント未満の場合：★★と表記しています。

(1) 小学校及び義務教育学校前期課程

単位 (%)

	国語	話し合いの内よう聞き取る	漢字を読む	漢字を書く	言葉の学習	物語の内ようを読み取る	せつ明文の内ようを読み取る	話し合いをもとにしようたいじようを書く	文章を書く	
		三年生	釧路市	65.6	92.1	77.3	☆ 75.4	82.3	45.0	☆ 51.3
	全国平均	63.0	91.5	78.5	71.1	84.7	43.2	47.9	62.2	
	算数	10000より大きい数	たし算・ひき算	かけ算	わり算	円と球	長さ・重さ	時こくと時間		
	釧路市	☆ 86.5	79.8	☆ 71.0	☆ 67.6	☆ 69.6	☆☆ 82.6	☆☆ 77.3		
	全国平均	83.0	79.2	67.0	63.0	65.8	75.8	70.9		
四年生	国語	話し合いの内よう聞き取る	漢字を読む	漢字を書く	言葉の学習	物語の内ようを読み取る	説明文の内ようを読み取る	調べて分かったことを発表する	文章を書く	
	釧路市	☆☆ 59.5	87.1	63.3	77.4	76.3	51.2	53.9	☆☆ 65.8	
	全国平均	53.7	87.0	65.8	76.7	77.2	48.9	51.3	46.5	
	算数	億と兆・がい数の表し方	わり算	小数	計算のきまり	垂直・平行と四角形	角の大きさ	簡単な場合についての割合	折れ線グラフ	
	釧路市	78.7	☆☆ 63.4	61.9	75.1	☆☆ 67.2	67.2	73.3	☆ 49.2	
	全国平均	78.3	58.2	59.6	72.2	57.5	68.3	75.8	45.4	
五年生	国語	話し合いの内容を聞き取る	漢字を読む	漢字を書く	言葉の学習	物語の内容を読み取る	説明文の内容を読み取る	ポスターを作る	文章を書く	
	釧路市	72.3	94.7	75.5	☆☆ 70.7	76.3	☆ 64.9	☆☆ 66.5	☆☆ 83.8	
	全国平均	69.6	93.8	75.5	61.9	74.4	60.6	58.3	67.1	
	算数	整数のなかま分け	小数のかけ算・わり算	分数と小数	分数のたし算・ひき算	合同	図形の角	体積	単位量あたりの大きさ 比例	平均
	釧路市	75.6	☆☆ 62.2	★★ 67.1	70.5	☆☆ 75.8	☆ 72.2	☆ 66.0	☆☆ 49.3	☆☆ 49.1
	全国平均	76.4	54.7	72.3	70.6	68.0	68.1	61.1	39.1 35.3	
六年生	国語	インタビューの内容を聞き取る	漢字を読む	漢字を書く	言葉の学習	物語の内容を読み取る	説明文の内容を読み取る	ポスターを作る	文章を書く	
	釧路市	73.4	★ 81.3	☆☆ 50.5	61.1	★ 81.2	49.0	66.4	☆ 73.5	
	全国平均	75.3	85.7	43.0	61.6	85.3	49.9	64.7	69.1	
	算数	分数のかけ算・わり算	文字と式	拡大図と縮図	対称な形	面積と体積	比と比の値			
	釧路市	74.1	☆ 75.3	87.5	69.4	80.5	★★ 58.0			
	全国平均	74.2	72.1	86.7	69.2	80.9	64.4			

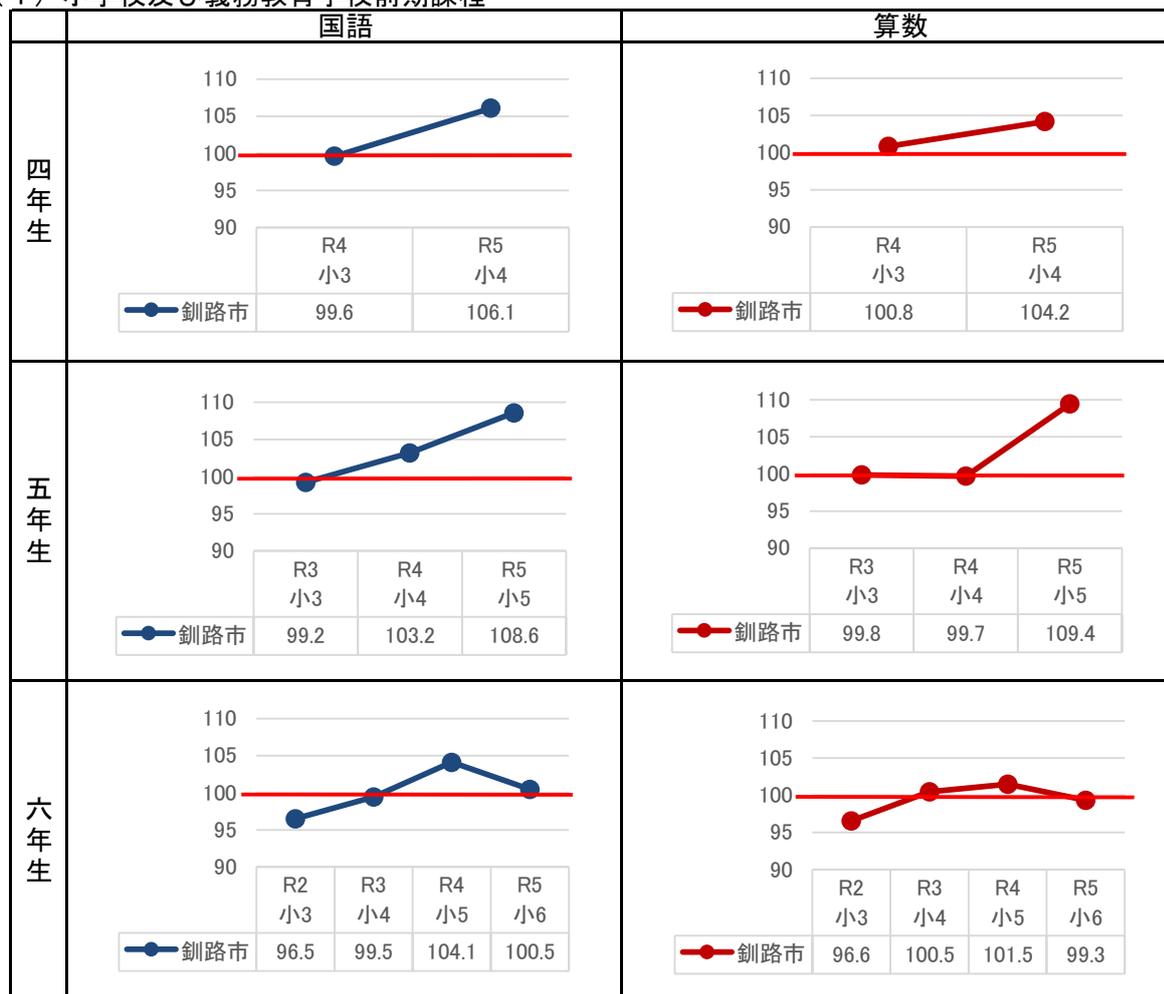
(2) 中学校及び義務教育学校後期課程

単位 (%)

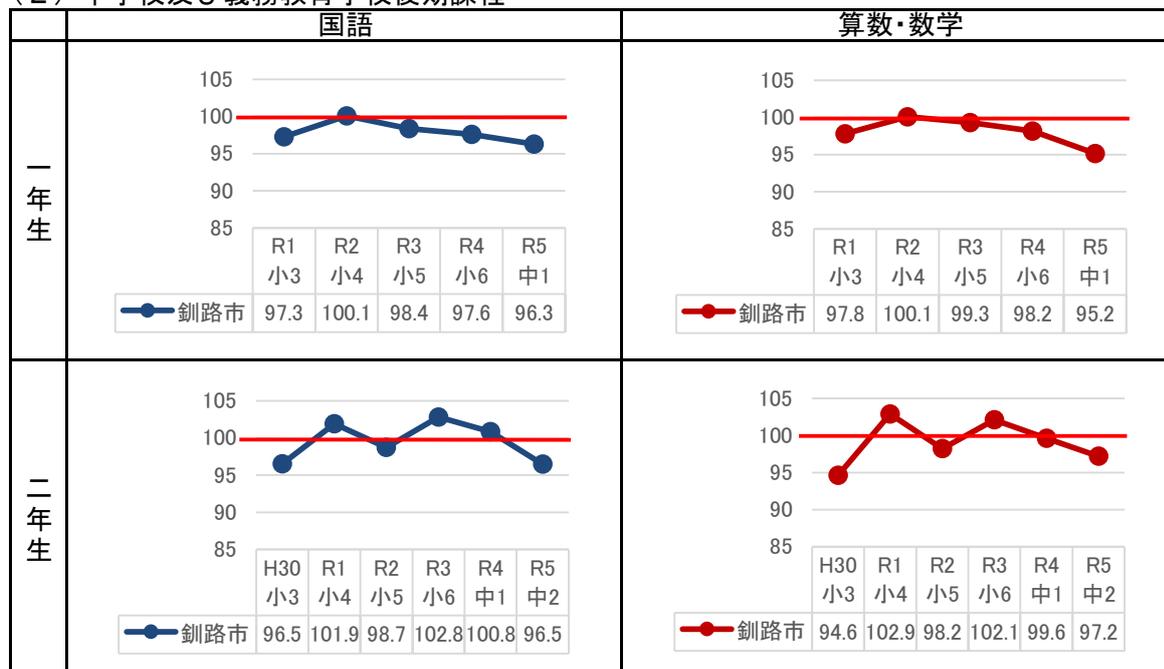
	国語	話し合いの内容を聞き取る	漢字を読む	漢字を書く	文法・語句に関する事項	説明的な文章の内容を読み取る	文学的な文章の内容を読み取る	調べたことをもとにしようたいじようを書く	文章を書く
		一年生	釧路市	85.4	71.4	☆ 59.1	★ 40.6	★ 47.6	73.7
	全国平均	87.7	70.7	56.1	45.6	51.8	75.4	53.3	61.2
	数学	正の数・負の数	文字式	1次方程式	比例・反比例	平面図形			
	釧路市	60.7	★★ 36.0	45.3	46.5	69.2			
	全国平均	63.7	41.8	48.1	48.5	69.1			
二年生	国語	話の内容を聞き取る	漢字を読む	漢字を書く	文法・語句に関する事項	説明的な文章の内容を読み取る	文学的な文章の内容を読み取る	調べたことをもとにしようたいじようを書く	文章を書く
	釧路市	73.8	88.1	71.2	66.8	58.8	74.7	53.7	★★ 42.8
	全国平均	73.0	89.1	70.6	69.2	61.0	77.0	55.9	51.5
	数学	式の計算	連立方程式	1次関数	図形の性質	証明			
	釧路市	★ 45.7	42.0	47.4	66.1	★ 58.1			
	全国平均	50.1	44.6	46.7	66.1	62.7			

同一集団による経年変化（全国平均を100とした場合）

(1) 小学校及び義務教育学校前期課程



(2) 中学校及び義務教育学校後期課程



全国平均との比較達成状況

(1) 小学校及び義務教育学校前期課程

() は令和4年度

国語	$P < -5$	$-5 \leq P < -3$	$-3 \leq P < 0$	$0 \leq P < 3$	$3 \leq P < 5$	$5 \leq P$
3年生	2校	1校	4校	5校	3校	10校
	(8校)	(0校)	(5校)	(5校)	(4校)	(4校)
4年生	3校	1校	2校	2校	4校	14校
	(2校)	(3校)	(2校)	(10校)	(1校)	(8校)
5年生	1校	0校	3校	6校	2校	14校
	(4校)	(0校)	(2校)	(6校)	(3校)	(11校)
6年生	6校	2校	3校	7校	5校	3校
	(8校)	(4校)	(6校)	(4校)	(1校)	(3校)

算数	$P < -5$	$-5 \leq P < -3$	$-3 \leq P < 0$	$0 \leq P < 3$	$3 \leq P < 5$	$5 \leq P$
3年生	0校	1校	3校	6校	3校	12校
	(4校)	(2校)	(7校)	(5校)	(3校)	(5校)
4年生	3校	2校	0校	8校	5校	8校
	(7校)	(2校)	(6校)	(4校)	(1校)	(6校)
5年生	3校	2校	5校	2校	0校	14校
	(3校)	(6校)	(5校)	(3校)	(4校)	(5校)
6年生	5校	4校	4校	6校	2校	5校
	(7校)	(3校)	(6校)	(5校)	(1校)	(4校)

(2) 中学校及び義務教育学校後期課程

国語	$P < -5$	$-5 \leq P < -3$	$-3 \leq P < 0$	$0 \leq P < 3$	$3 \leq P < 5$	$5 \leq P$
1年生	4校	1校	3校	5校	0校	2校
	(1校)	(1校)	(2校)	(5校)	(3校)	(3校)
2年生	3校	1校	4校	3校	2校	2校
	(4校)	(2校)	(3校)	(2校)	(2校)	(2校)

数学	$P < -5$	$-5 \leq P < -3$	$-3 \leq P < 0$	$0 \leq P < 3$	$3 \leq P < 5$	$5 \leq P$
1年生	5校	0校	4校	2校	0校	4校
	(2校)	(2校)	(1校)	(5校)	(1校)	(4校)
2年生	2校	4校	1校	2校	2校	4校
	(1校)	(3校)	(2校)	(7校)	(0校)	(2校)

主に中学校の課題改善に向けた取組 (教科に関する検査より)

新規の取組

- 全国比－5 pを下回る中学校には、授業改善と学習指導の取組の改善に向けて指導主事による学校訪問を3回以上設定し、指導、助言を行う。
- 全国比－5 pを下回る中学校においては、生徒個々の学習状況に応じた学習支援が重要となるため、放課後学習サポート、長期休業中の学習サポート時に学生サポーター等を重点的に配置する。
- 全国比－5 pを下回る中学校における学習習慣の確実な定着と、基礎的・基本的な学習内容の定着を図るため、家庭でのタブレット端末の持ち帰りと利活用、日常的な漢字テスト、計算テスト等を実施等を通して、個々の学習状況の変化を短いスパンで詳細に確認するよう指導する。

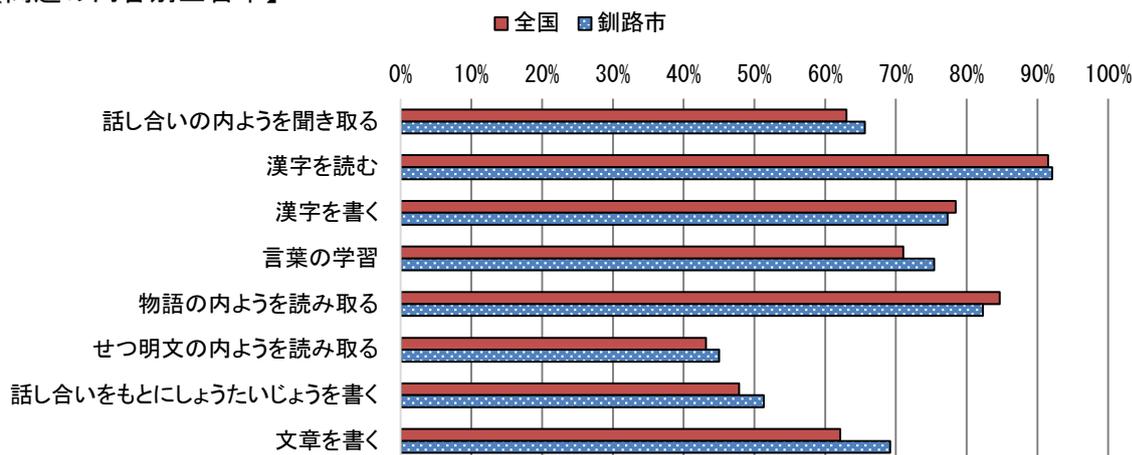
拡充する取組

- 各中学校は、基礎的・基本的な学習内容の確実な理解に向けて、特に教科の評定が5段階評定で「1」や「2」となる生徒の課題を詳細に分析し、放課後学習への参加の促しやタブレットドリルを活用した家庭学習の推進等、個々の生徒に即したフォローアップする具体的取組を工夫する。（取組の実施にあたっては、期間を設定した上で取組の効果検証を行い、改善を図る。）
- 「小・中ジョイントプロジェクト」の取組を拡充し、小・中学校すべての教員が相互に授業を参観し合い、日常の授業改善に向けて協議し合う機会を設定する。
- 釧路市全体では、小学6年生と中学1年生の算数、数学の内容接続に課題が見られることから、算数、数学の連携を内容とした釧路教育研究センター研修講座を開催する。
- 学校内における教師間の資質・能力の格差を埋めるために、各中学校の教科部会の活性化をねらいとした研修を開催する。

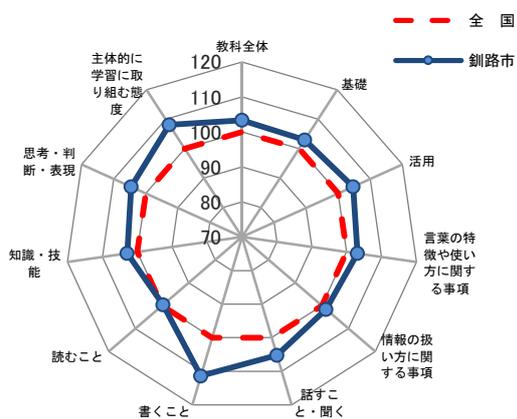
Ⅱ 各学年・教科の状況

1 小学校3年生（国語）

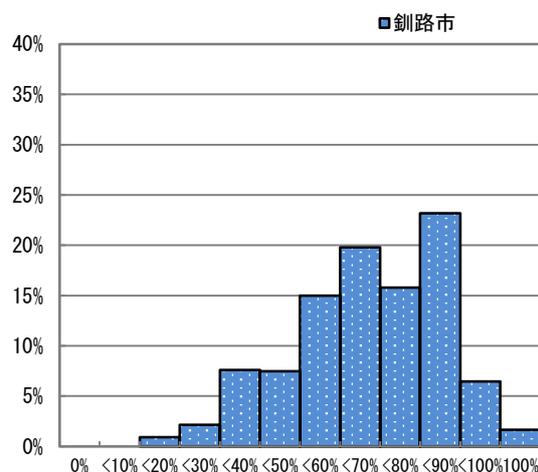
【問題の内容別正答率】



【標準スコアによるカテゴリー間の比較】



【正答率度数分布】



【結果と傾向】

- ・ 教科全体の正答率は、70.7%（全国平均68.4%）である。カテゴリー別正答率においては、「読むこと」以外で、上回っている。
- ・ 問題の内容別正答率においては、「文章を書く」、「言葉の学習」等で上回っている一方、「物語の内ようを読み取る」と「漢字を書く」で下回っている。
- ・ 特に全国平均を上回った設問は、「言葉の学習」の設問における「ローマ字で表記されたものを正しく読むこと」、「文章を書く」の設問における「指定された長さで文章を書くこと」、「段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書くこと」等である。
- ・ 特に全国平均を下回った設問は、「物語の内ようを読み取る」の設問における「登場人物の様子について叙述を基に捉えること」、「漢字を書く」の設問における「第2学年に配当されている漢字を正しく書くこと」等である。

【今後の指導について】

○ 登場人物の気持ちを具体的に想像する指導の充実

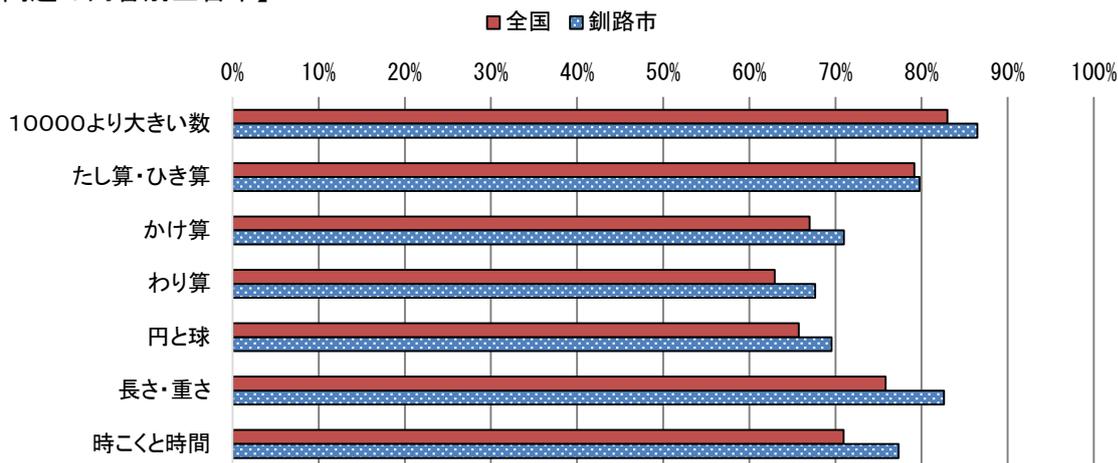
- ・ 登場人物の気持ちを、行動や会話、地の文などの叙述を基に想像するとともに、複数の場面の叙述を結び付けながら、気持ちの変化を見いだしていく学習活動を充実させましょう。また、文章を読んで理解したことについて感想や考えをもたせることで、自分が文書をどのように捉え、理解したのかを改めて確かめる学習活動を充実させましょう。

○ 学年別漢字配当表に示されている漢字を、文や文章の中で使う指導の充実

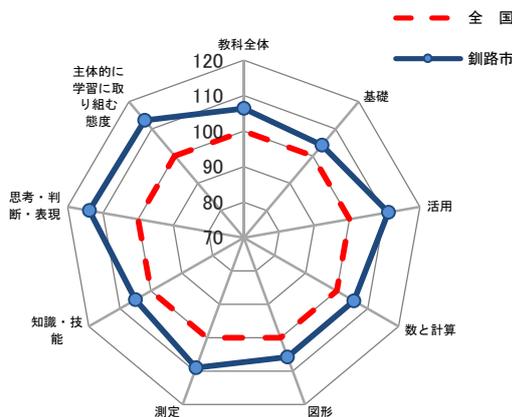
- ・ 同じ漢字を繰り返し練習することにとどまらず、学習において振り返りを書く場面や、日常生活において日記を書く場面などで漢字を使うよう指導しましょう。また、辞書や辞典を利用して調べる活動を取り入れるなど、漢字の意味などを自分で調べる活動を積極的に取り入れ、習慣として定着させましょう。

2 小学校3年生（算数）

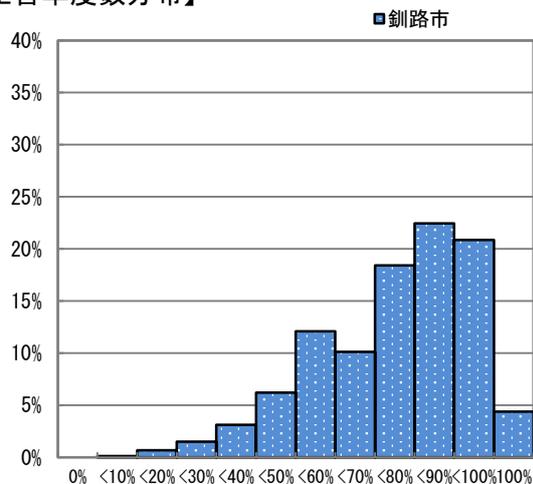
【問題の内容別正答率】



【標準スコアによるカテゴリー間の比較】



【正答率度数分布】



【結果と傾向】

- ・教科全体の正答率は、74.4%（全国平均69.9%）である。カテゴリー別正答率においては、全てのカテゴリーで、上回っている。
- ・問題の内容別正答率においては、「長さ・重さ」、「時こくと時間」等全ての内容で、上回っている。
- ・特に全国平均を上回った設問は、「時こくと時間」の設問における「身近にあることの時間を推察して、適切な単位を使うこと」、「かけ算」の設問における「（ ）を用いて1つの式に表した3つの数の乗法について、式の意味を場面と結びつけて説明すること」、「円と球」の設問における「円の半径から、長方形のプレートの横の辺の長さを求めること」等である。
- ・特に全国平均を下回った設問は、「わり算」の設問における「式から何を求める問題になるかを選ぶこと」、「円と球」の設問における「球の切り口が円になることを理解すること」である。

【今後の指導について】

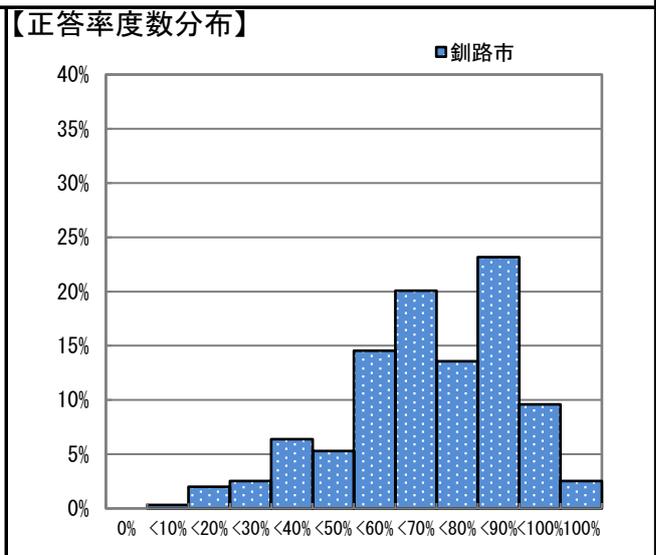
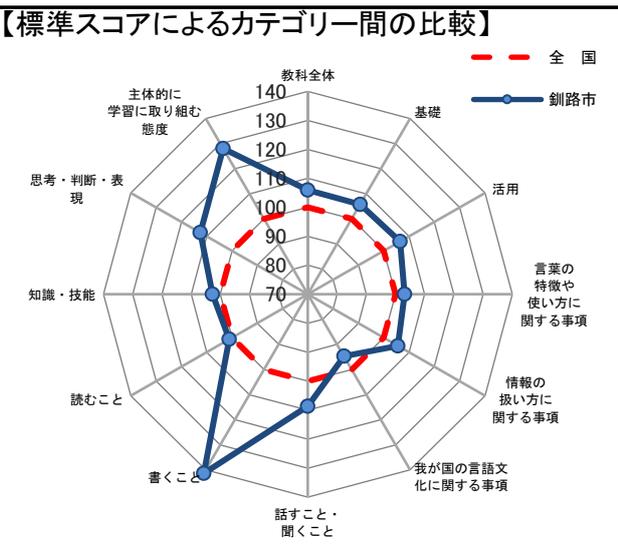
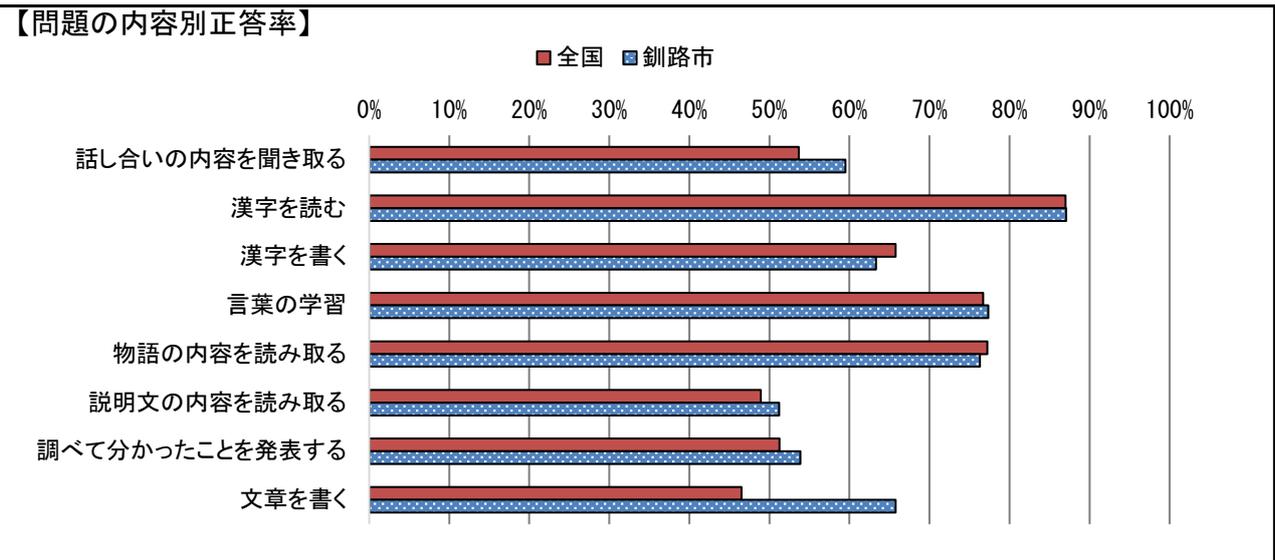
○ 数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えさせる指導の充実

- ・等分除や包含除のそれぞれの場面の問題を、具体物、図で考え、その結果を確かめ合ったり、それを表現し伝え合ったりする学習活動を充実させましょう。また、あるものを何人かで等しく分けたり、同じ数ずつ袋に入れたりする場面を活用して、日常生活の場面に即してより適切な答えを考えることができるよう指導しましょう。

○ 模型の操作や観察をする活動の充実

- ・球を平面で切ると切り口はどれも円になることや、球をちょうど半分にした場合の切り口が最大になることなどを模型の操作や観察を通して理解させる学習活動を充実させましょう。また、円や球について指導する際には、児童の身の回りにある楕円状の物や卵型のものも用いて円や球と丸い形の区別ができるように指導しましょう。

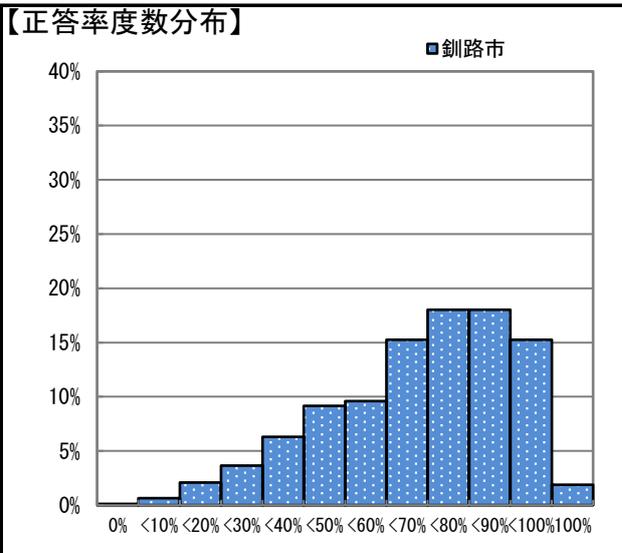
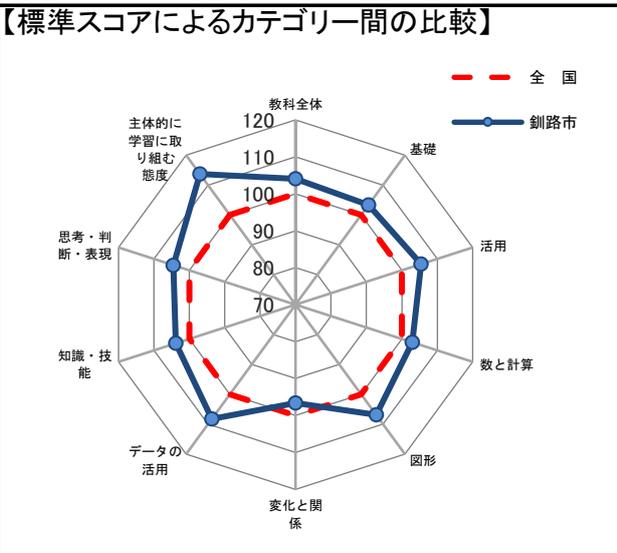
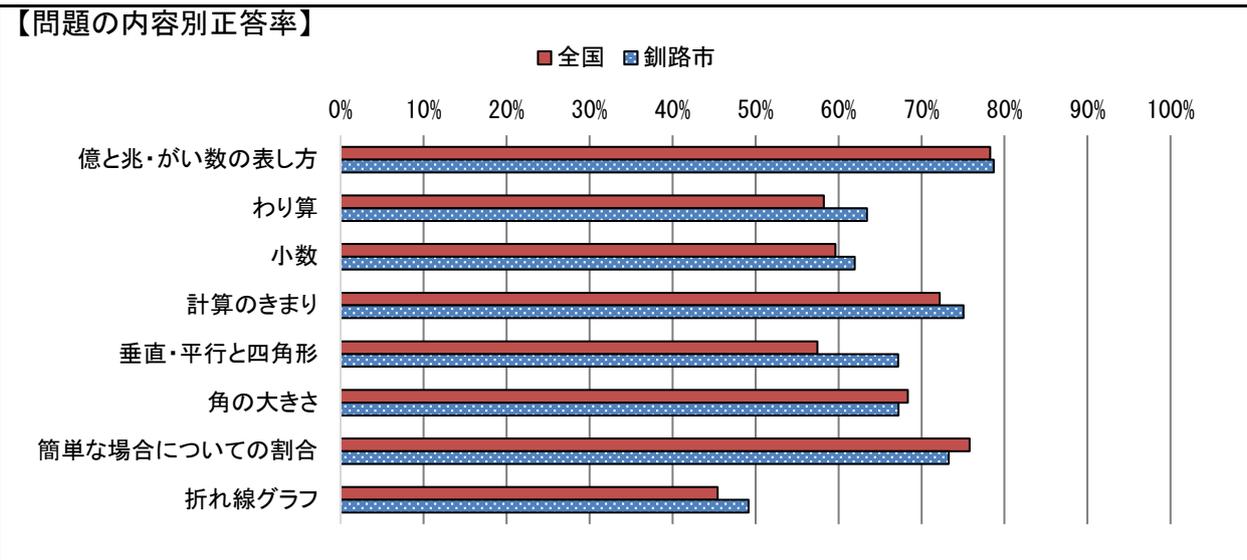
3 小学校4年生（国語）



- 【結果と傾向】
- 教科全体の正答率は、68.1%（全国平均64.2%）である。カテゴリー別正答率においては、「我が国の言語文化に関する事項」以外の項目で上回っている。
 - 問題の内容別正答率においては、「文章を書く」、「話し合いの内容を聞き取る」、「調べて分かったことを発表する」等で上回っている。
 - 特に全国平均を上回った設問は、「文章を書く」設問における「内容の中心を明確にし、事実を伝える文章を書くこと」、「段落の役割について理解し、2段落構成で文書を書くこと」等である。
 - 特に全国平均を下回った設問は、「物語の内ようを読み取る」の設問における「文章を読んで感じたことや考えたことを共有すること」、「漢字を書く」設問における「第3学年に配当されている漢字を正しく書くこと」等である。

- 【今後の指導について】
- 詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする指導の充実
 - ・ 物語のあらすじや登場人物の行動や気持ちなどを説明したり、それらを基に考えたことや具体的に想像したことなどを文章にまとめたり発表したりする学習活動を充実させましょう。
 - 学年別漢字配当表に示されている漢字を、文や文章の中で使う指導の充実
 - ・ 同じ漢字を繰り返し練習することにとどまらず、学習において振り返りを書く場面や、日常生活において日記を書く場面などで漢字を使うよう指導しましょう。

4 小学校4年生（算数）



【結果と傾向】

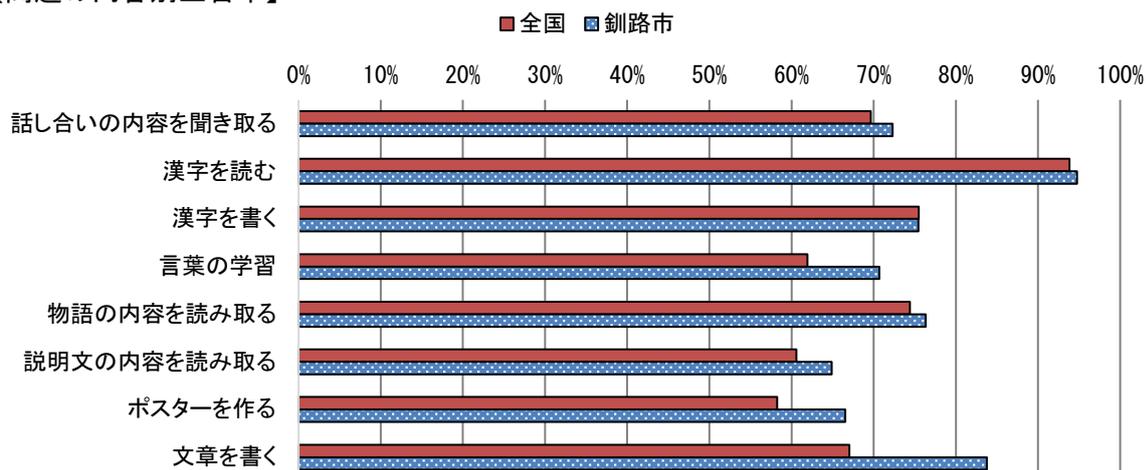
- ・教科全体の正答率は、67.5%（全国平均64.8%）である。カテゴリー別正答率においては、「変化と関係」以外の項目で上回っている。
- ・問題の内容別正答率においては、「垂直・平行と四角形」や「わり算」等で上回っている一方、「角の大きさ」、「簡単な場合についての割合」で下回っている。
- ・特に全国平均を上回った設問は、「わり算」の設問における「文章問題を解くために立式した2けた÷1けた（余りあり）の式と計算結果から余りの処理をして正しい答えを求めること」、「垂直・平行と四角形」の設問における「ひし形の作図ができること」等である。
- ・特に全国平均を下回った設問は、「角の大きさ」の設問における「示された考え方をもとに、180°より大きい角を求めること」、「億と兆・概数の表し方」の設問における「上から2けたの概数の表し方を理解すること」等である。

【今後の指導について】

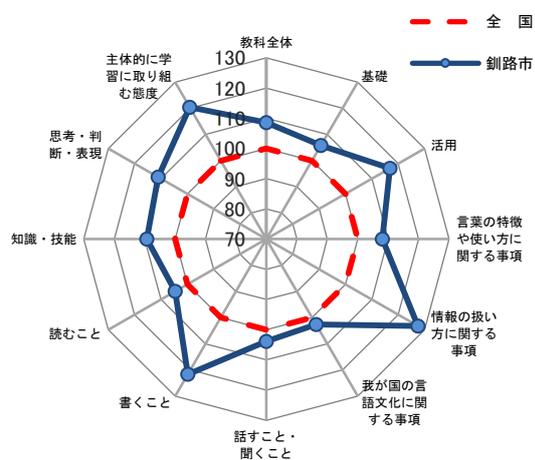
- 図形の角の大きさに着目し、角の大きさを柔軟に表現する指導の充実
 - ・直角の大きさが90度であることや一回転した角の大きさが360度であることを基に、角の大きさを柔軟に表現できるような学習活動を充実させましょう。
- 目的を明確にしながら、用い方を理解する指導の充実
 - ・概数を用いる場合には、詳しい数値が分かっても、目的に応じて数を丸めて表記する場合や、棒グラフを用いて比較するように、棒の長さなどで数のおよその大きさを表す場合があるなど目的や用い方が理解できるような学習活動を充実させましょう。

5 小学校5年生（国語）

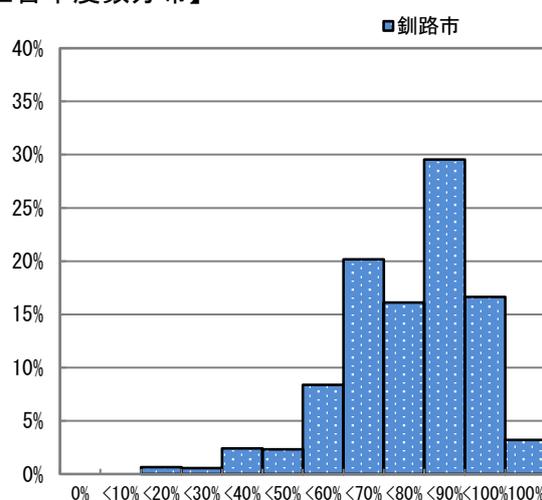
【問題の内容別正答率】



【標準スコアによるカテゴリー間の比較】



【正答率度数分布】



【結果と傾向】

- 教科全体の正答率は、75.9%（全国平均69.9%）である。カテゴリー別正答率においては、全ての項目で上回っている。
- 問題の内容別正答率においては、「漢字を書く」以外で上回っており、「言葉の学習」、「ポスターを作る」、「文章を書く」等で上回っている。
- 特に全国平均を上回った設問は、「言葉の学習」の設問における「連用修飾語について理解している」、「文章を書く」の設問における「段落の役割について理解し、2段階構成で文章を書いている」等である。
- 特に全国平均を下回った設問は、「漢字を書く」の設問における「第4学年に配当されている漢字を正しく書いている」である。特に正答率が低かった設問としては、「説明文の内容を読み取る」の設問における「情報と情報との関係について理解し、文章の情報を整理している」である。

【今後の指導について】

○ 学年別漢字配当表に示されている漢字を、文や文章の中で使う指導の充実

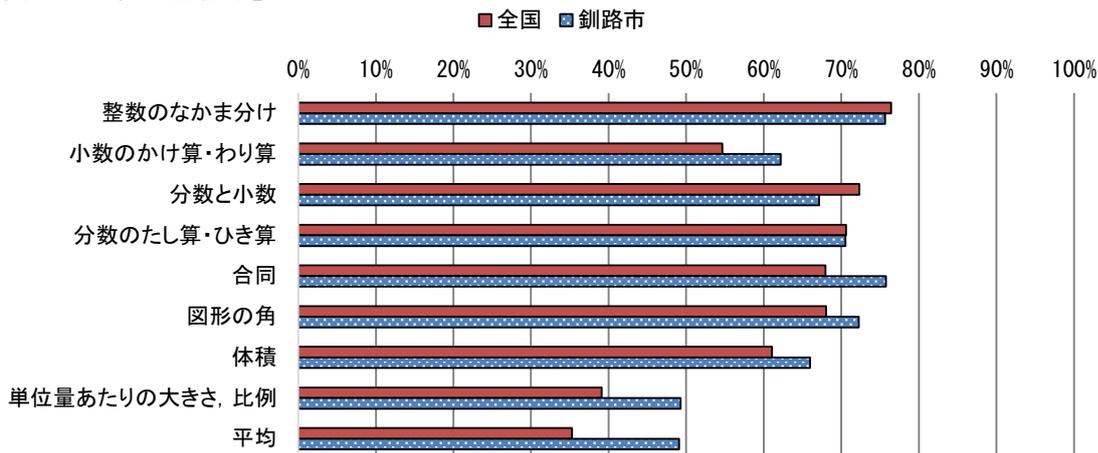
- 漢字を書くことについては、同じ漢字を繰り返し練習することにとどまらず、学習において振り返りを書く場面や、日常生活において日記を書く場面などで漢字を使うよう指導しましょう。

○ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける指導の充実

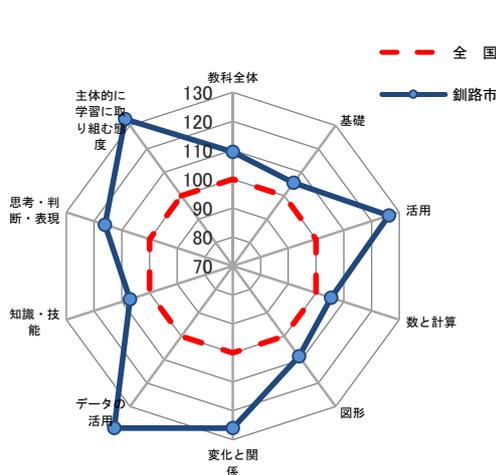
- 説明的文章などを読む際に、文章中に用いられている図表などが、文章のどの部分と結び付くのかを明らかにした上で、文章と図表などの関係を捉えて読むことができるよう、図表から必要な情報を見付けたり見付けた情報を言葉に表したりする活動を位置付けながら指導しましょう。

6 小学校5年生（算数）

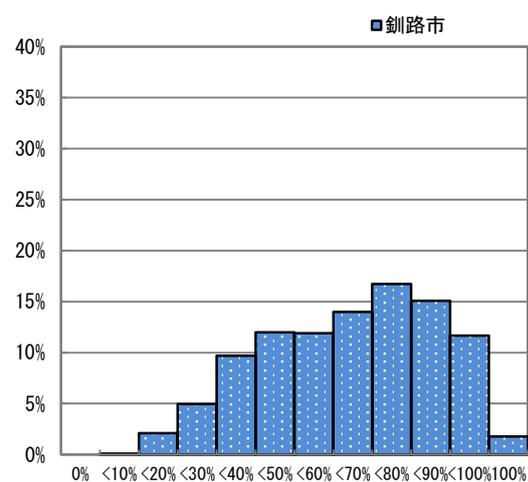
【問題の内容別正答率】



【標準スコアによるカテゴリー間の比較】



【正答率度数分布】



【結果と傾向】

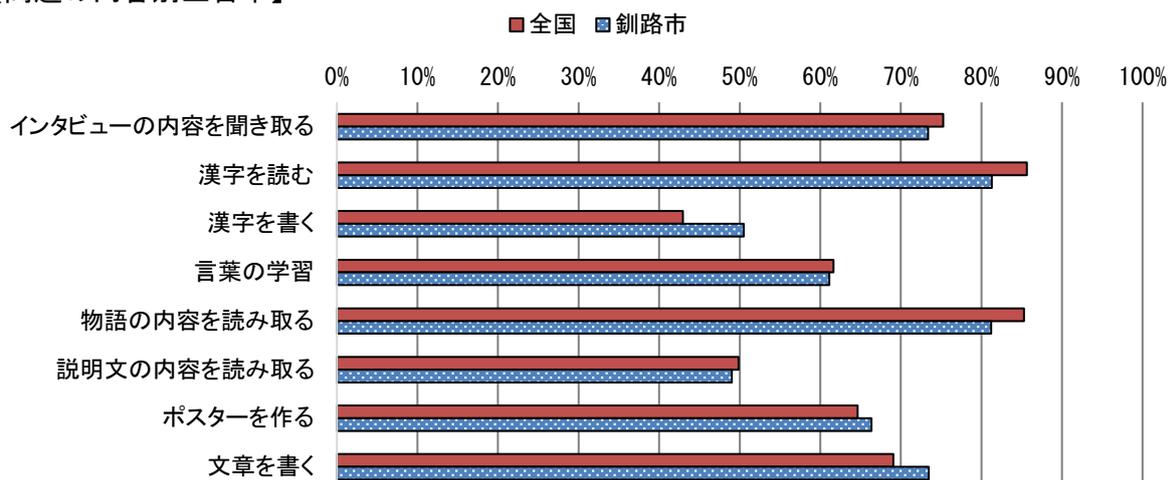
- ・教科全体の正答率は、63.8%（全国平均58.3%）である。カテゴリー別正答率においては、すべての項目で上回っている。□
- ・問題の内容別正答率においては、「単位数あたりの大きさ, 比例」, 「平均」等で上回っている一方、「分数と小数」等で下回っている。
- ・特に全国平均を上回った設問は、「小数のかけ算・わり算」の設問における「小数の乗法でも分配法則が成り立つことを理解している」, 「平均」の設問における「値に0があり, 答えが小数になる分離量の平均を求めることができる」等である。
- ・特に全国平均を下回った設問は、「分数と小数」の設問における「整数÷整数の商を分数で表すことができる」である。特に正答率が低かった設問としては、「単位数あたりの大きさ, 比例」の設問における「1人あたりのたたみの数やたたみ1枚あたりの人数を求めて, どちらの部屋がこんでいるのかを説明している」である。

【今後の指導について】

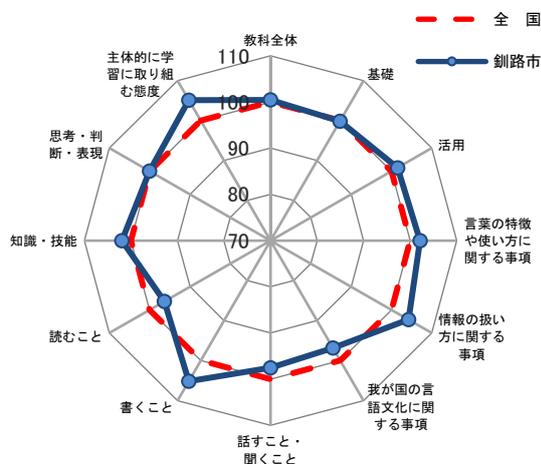
- 数量の関係を捉え, 正しく立式したり, 計算結果を基に問題場面を振り返ったりすることができるようにする指導の充実
 - ・商が1より大きい場合だけでなく, 商が1より小さい場合の除法についても, 数量の関係に着目し, 何が被除数で何が除数かを捉えて立式することができるようにすることが重要です。さらに, 計算結果について, 問題場面に対応した式について話し合ったりする際に, 具体物を操作したり, 絵や図に表したりしながら説明させる活動を位置付けましょう。
- 伴って変わる二つの数量の関係に着目し, それらを用いることができるようにする指導の充実
 - ・問題場面から二つの数量の関係に着目させながら変化の規則性を捉え, その変化の特徴を用いて問題を解決できるようにすることが重要です。長さや重さのような量と対比させながら, そのような量があることを児童自身が見いだせるよう, 具体的な場面を用意して指導しましょう。

7 小学校6年生（国語）

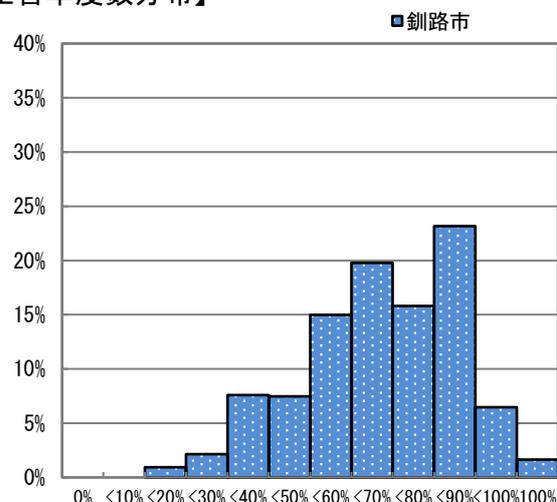
【問題の内容別正答率】



【標準スコアによるカテゴリ間の比較】



【正答率度数分布】



【結果と傾向】

- 教科全体の正答率は66.9%（全国平均66.6%）である。カテゴリ別正答率においては、「書くこと」、「情報の扱い方」等で上回っている一方、「読むこと」、「我が国の言語文化に関する事項」等で下回っている。
- 問題の内容別正答率においては、「漢字を書く」、「文章を書く」等で上回っている一方、「漢字を読む」、「物語の内容を読み取る」等で下回っている。
- 特に全国平均を上回った設問は、「文章を書く」の設問における「予想される反論とそれに対する意見を書いている」、「段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている」等である。
- 特に全校平均を下回った設問は、「物語の内容を読み取る」の設問における「人物像を具体的に想像する」等である。

【今後の指導について】

○ 日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れるための指導の充実

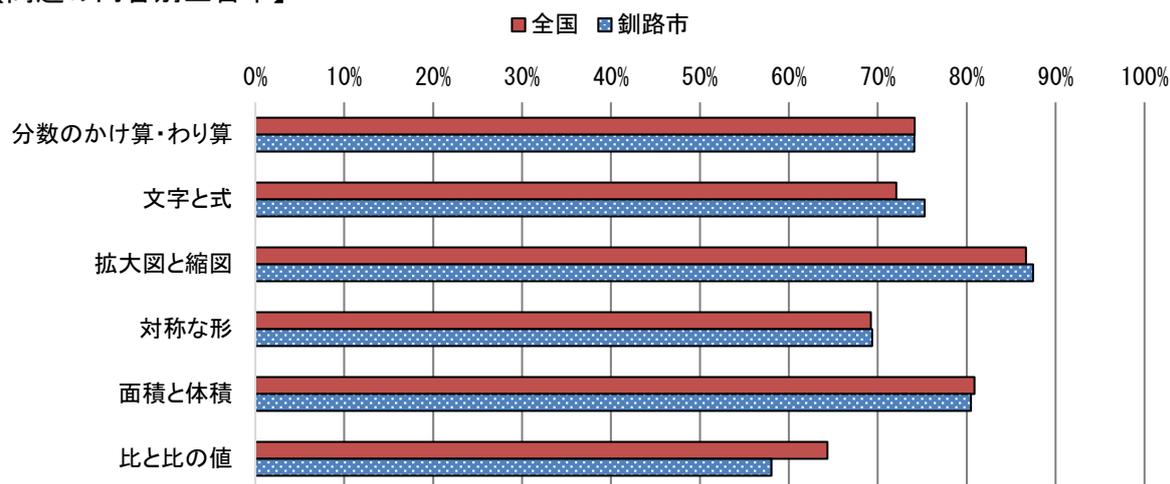
- 日常生活の中で相手や場面に応じて適切に敬語を使うことに慣れるために、日常生活の実際の場面を通して、尊敬語と謙譲語について理解できるよう指導しましょう。

○ 人物像を具体的に想像するための指導の充実

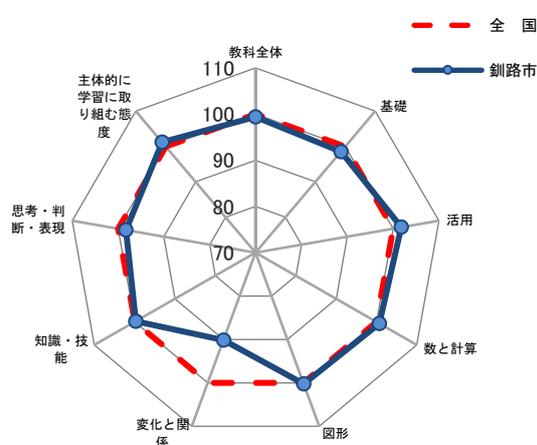
- 登場人物の人物像を具体的に想像するためには、登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、それらを基に生活や考え方などを総合して判断する学習活動を充実させましょう。

8 小学校6年生（算数）

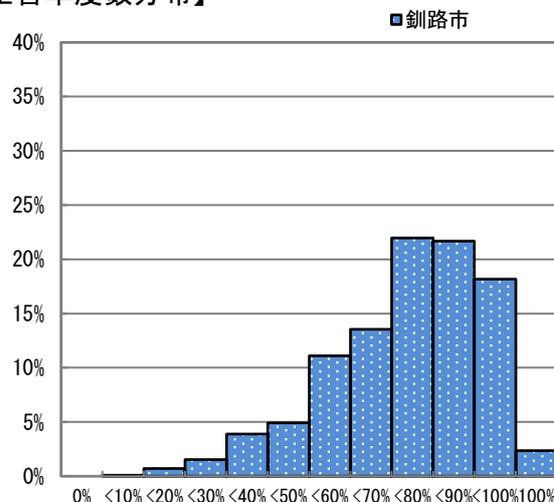
【問題の内容別正答率】



【標準スコアによるカテゴリー間の比較】



【正答率度数分布】



【結果と傾向】

- ・教科全体の正答率は、73.3%（全国平均73.8%）である。カテゴリー別正答率においても、「変化と関係」で下回っている。
- ・問題の内容別正答率においては、「文字と式」、「拡大図と縮図」、「対称な形」で上回っている一方、「分数のかけ算・わり算」、「面積と体積」、「比と比の値」で下回っている。
- ・特に全国平均を上回った設問は、「分数のかけ算・わり算」の設問における「逆数について理解している」、「分数の除法の文章問題にあった図を選ぶことができる」等である。
- ・特に全国平均を下回った設問は、「比と比の値」の設問における「等しい比について理解している」、「分数のかけ算・わり算」の設問における「基準量が分数の場合において、分数倍の比較量を求めることができる」である。

【今後の指導について】

○ 割合と基準量から、比較量を求めることができるようにする指導の充実

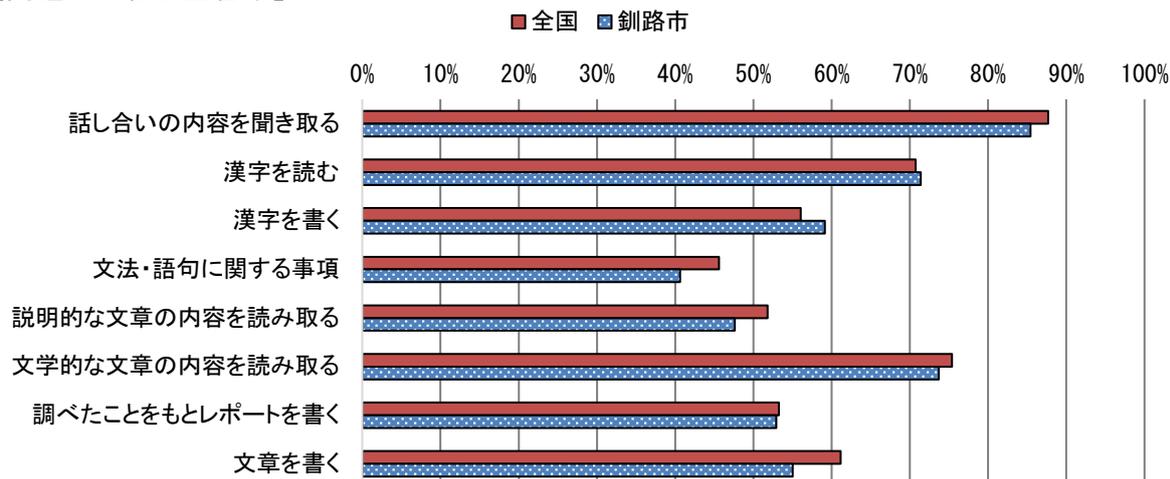
- ・問題場面から、基準量、比較量、割合の関係を捉えることができるようにするために、言葉の式だけでなく、自分にとって分かりやすい図をかいて数量の関係を捉え、その数量の関係から比較量を求める式を立てる学習活動を展開しましょう。また、それらを日常生活に生かす態度を養うよう意識しましょう。

○ 獲得した知識を関連させて、問題解決を図ることができるようにする指導の充実

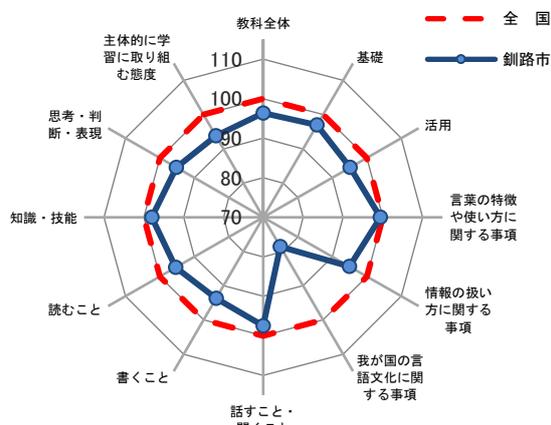
- ・本時の学習内容を確実に定着させるだけでなく、既習事項、既存の地域や生活経験等を関連させて活用問題を扱うなど、複合的な要素を整理して問題解決を図る場面を意図的・計画的に設定しましょう。

9 中学校1年生（国語）

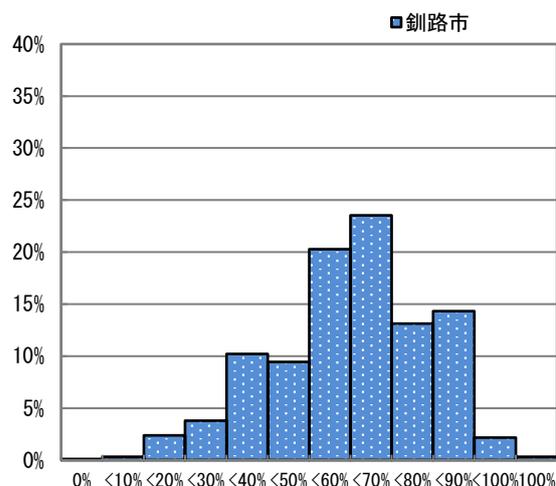
【問題の内容別正答率】



【標準スコアによるカテゴリ間の比較】



【正答率度数分布】



【結果と傾向】

- ・教科全体の正答率は、59.7%（全国平均62.0%）である。カテゴリ別正答率においては、すべての項目で下回り、特に「我が国の言語文化に関する事項」の項目に課題が見られる。
- ・問題の内容別正答率においては、「漢字を読む」、「漢字を書く」で上回っている一方、「文法・語句に関する事項」、「説明的な文章の内容を読み取る」、「文章を書く」等で下回っている。
- ・特に全国平均を上回った設問は、「漢字を書く」の設問における「小学校で学習した漢字を正しく書いている」等である。
- ・特に全国平均を下回った設問は、「文法・語句に関する事項」の設問における「歴史的仮名遣いについて理解している」等である。

【今後の指導について】

○ 音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を理解する指導の充実

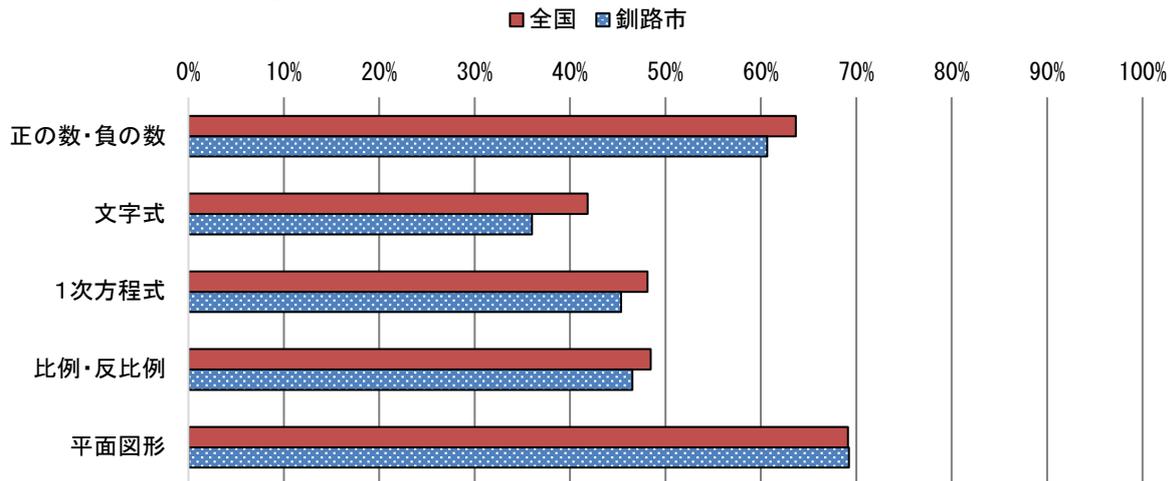
- ・現代の口語とは異なる古文特有のきまりや、返り点や送り仮名など漢文の訓読に必要な基礎的事項を理解し、それを基に古文や漢文の教材を音読する学習活動を積み重ね、古典の独特のリズムに気付かせ、古典の世界に親しめるようにしましょう。

○ 文章全体において中心となる内容を明らかにし、要旨を捉える指導の充実

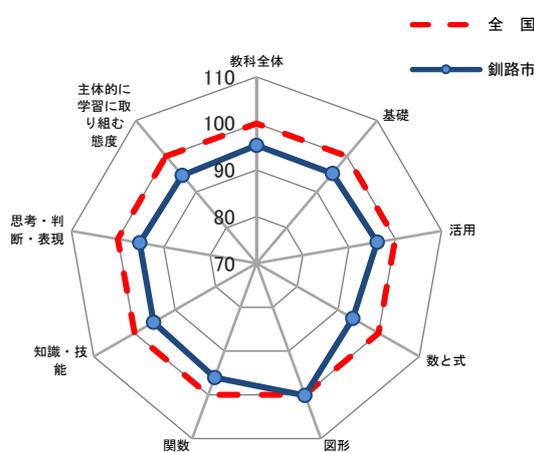
- ・段落ごとに内容を捉えたり、段落相互の関係を押さえたりしながら、大きな意味のまとまりごとに文章全体における役割について考えたり、文章全体の構造を踏まえて、キーワードやキーセンテンスなどに留意して情報を整理し、正確に文章の要旨について把握したりする言語活動を重視しましょう。

10 中学校1年生（数学）

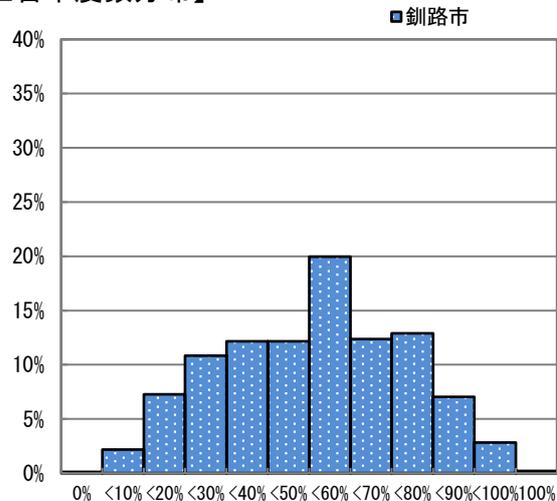
【問題の内容別正答率】



【標準スコアによるカテゴリ間の比較】



【正答率度数分布】



【結果と傾向】

- ・ 教科全体の正答率は、51.1%（全国平均53.7%）である。カテゴリ別正答率においては、「図形」以外で下回っている。
- ・ 問題の内容別正答率においては、「平面図形」で上回っている一方、「正の数・負の数」、「1次方程式」等で下回っている。
- ・ 特に全国平均を上回った設問は、「平面図形」の設問における「垂直な2直線の関係を表す記号について理解している」等である。
- ・ 特に全国平均を下回った設問は、「正の数・負の数」の設問における「正負の数の減法、除法」、「1次方程式」の設問における「簡単な一次方程式を解くことができる」等である。

【今後の指導について】

○ 正の数と負の数の四則計算ができるようにする指導の充実

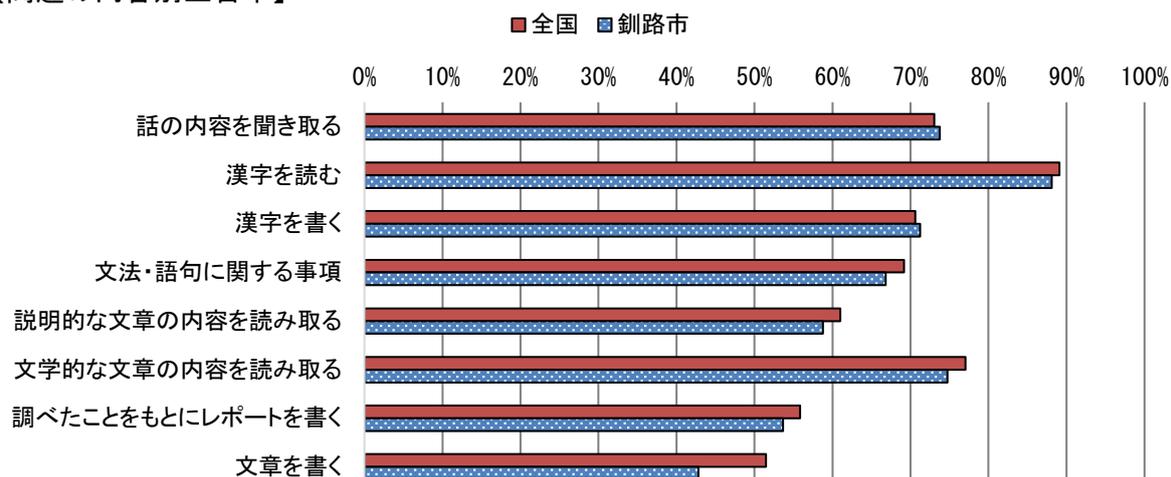
- ・ 正の数と負の数の四則計算ができるようにするとともに、その意味が理解できるような学習活動を充実させましょう。特に、四則計算は、文字を用いた式の計算や方程式を解く方法についての学習においても必要ですので、習熟を図りましょう。

○ 簡単な1元1次方程式を解くことができるようにする指導の充実

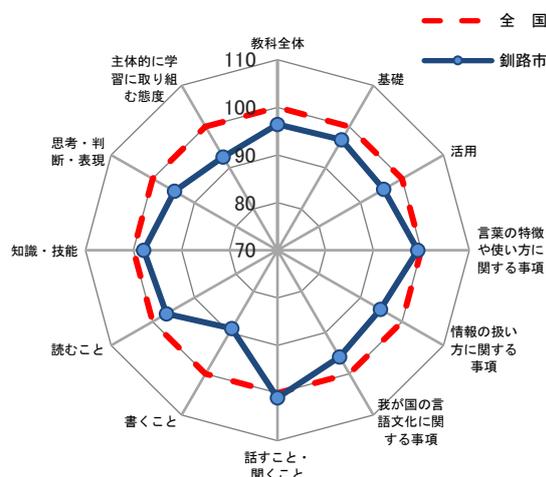
- ・ 等式の性質を基にして、もとの方程式と同値な方程式を段階的に導き、 $x = k$ の形に変形することで解が求められることを理解し、その変形の過程を観察することで、方程式を解く方法について一般的な手順をまとめ、能率よく解を求めることができるように指導しましょう。

1 1 中学校 2 年生（国語）

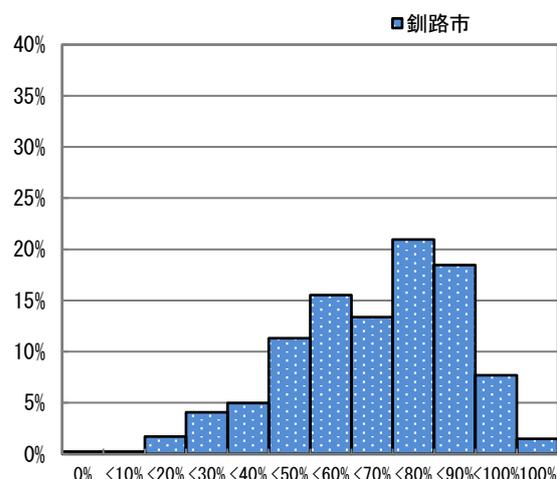
【問題の内容別正答率】



【標準スコアによるカテゴリー間の比較】



【正答率度数分布】



【結果と傾向】

- ・教科全体の正答率は、65.4%（全国平均67.8%）である。カテゴリー別正答率においては、「話すこと・聞くこと」以外で下回っている。
- ・問題の内容別正答率においては、「話の内容を聞き取る」、「漢字を書く」で上回っている一方、「文法、語句に関する事項」、「文章を書く」等で下回っている。
- ・特に全国平均を上回った設問は、「話の内容を聞き取る」の設問における「論理の展開に注意して、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている」等である。
- ・特に全国平均を下回った設問は、「調べたことをもとにレポートを書く」の設問における「情報と情報との関係について理解し、読み手の立場に立って、文章を整えている」等である。

【今後の指導について】

○ 説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わるように文章を書く指導の充実

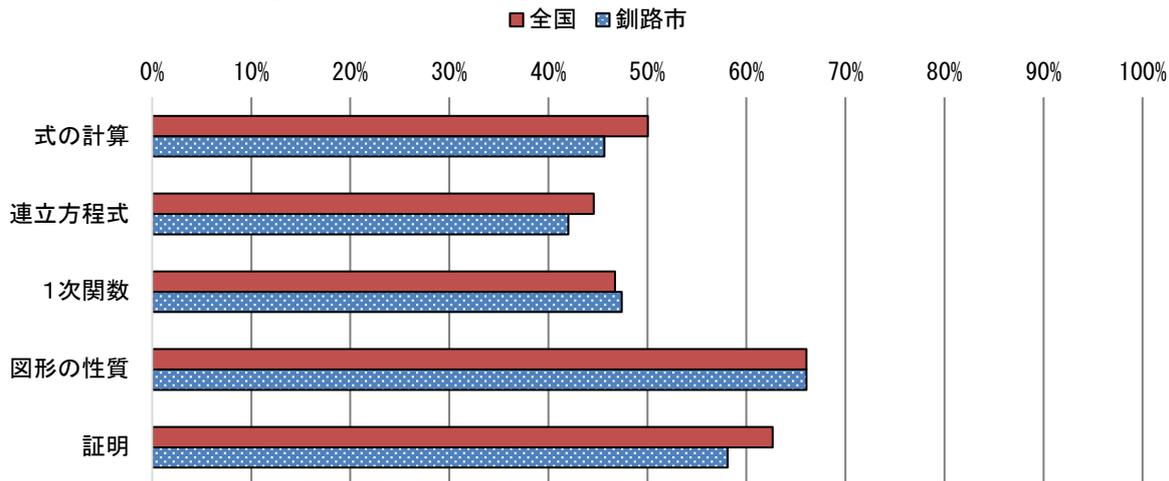
- ・書こうとする根拠が確かな事実や事柄に基づいたものであるか、自分の考えが事実や事柄に対する適当な解釈から導き出されているかなどの観点を重視しながら文章を書いていく学習を積み重ね、自分の考えがよりよく伝わる力が身に付くようにしましょう。

○ 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて文章を整える指導の充実

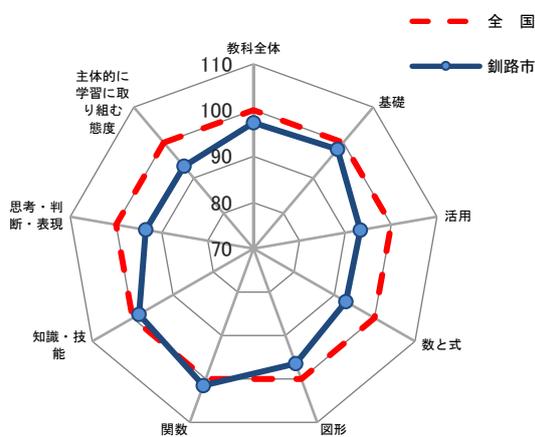
- ・自分の考えを伝えたり、印象付けたりする上で、書いた文章の表現がどのように働いているのかなどを確かめることが重要です。特に、説明や具体例、描写などに着目して、これらの表現が自分の考えを明確に伝えるために機能しているか、どのような効果を生んでいるのかなどについて読み手の立場から検討し、誤解のない表現やより効果的な表現にしていくよう指導しましょう。

1 2 中学校 2 年生（数学）

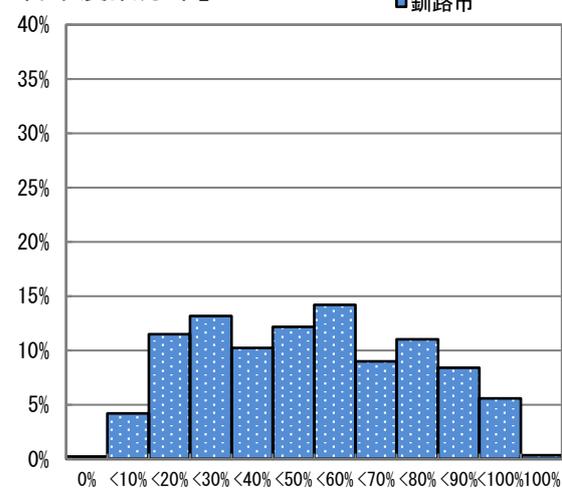
【問題の内容別正答率】



【標準スコアによるカテゴリ間の比較】



【正答率度数分布】



【結果と傾向】

- ・教科全体の正答率は、48.7%（全国平均50.1%）である。カテゴリ別正答率においては、「関数」以外で下回っている。
- ・問題の内容別正答率においては、「1次関数」で上回っている一方、「式の計算」、「連立方程式」等で下回っている。
- ・特に全国平均を上回った設問は、「1次関数」の設問における「1次関数 $y = ax + b$ のグラフにおける b について、正しく説明しているものを選ぶことができる」等である。
- ・特に全国平均を下回った設問は、「式の計算」の設問における「多項式の種類項をまとめる計算ができる」、「単項式の乗法と除法ができる」、「連立方程式」の設問における「加減法の原理を理解し、それを使って連立方程式を解くことができる」等である。

【今後の指導について】

○ 整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算ができるようにする指導の充実

- ・単項式と多項式の意味を理解し、整式の加法や減法、整式に数をかける計算、単項式どうしの乗法や除法の計算ができるように指導しましょう。特に、問題解決の文脈の中で必要に応じて、既に知っている式の計算を再度取り上げるなど、学び直しの機会を設定するようにしましょう。

○ 簡単な連立二元一次方程式を解くことができるようにする指導の充実

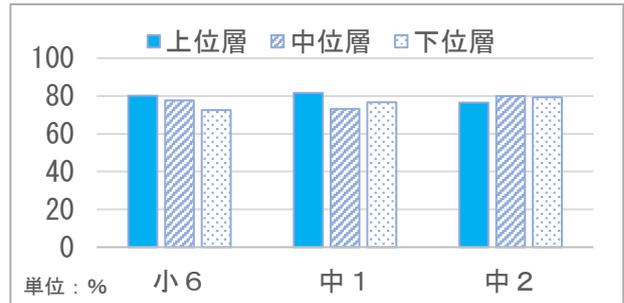
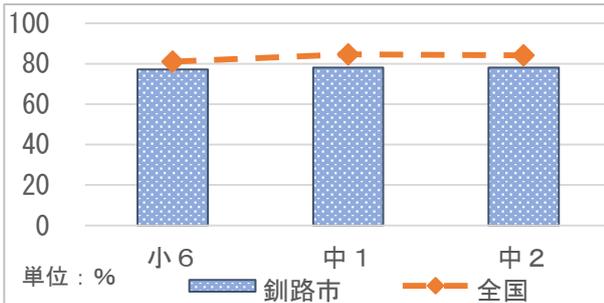
- ・連立二元一次方程式を解くには、既に知っている一元一次方程式に帰着させて、二つの文字のうち一方の文字を消去すればよいことに気付き、加減法や代入法による解き方について考察し表現することができるように指導しましょう。

Ⅲ 生活行動・学習活動調査結果の概要

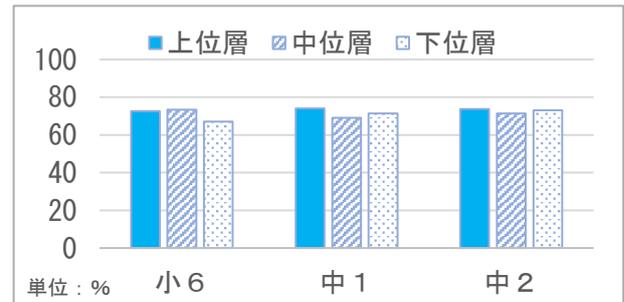
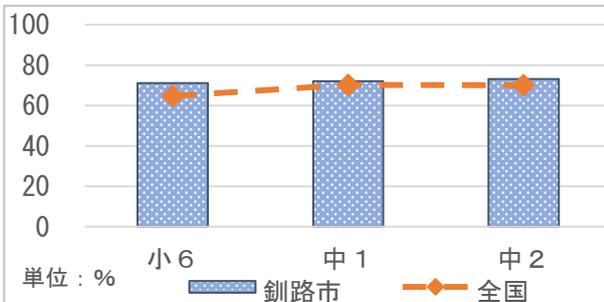
(1) 「生活行動」に関する項目

1 朝は、時刻を決めて起きている

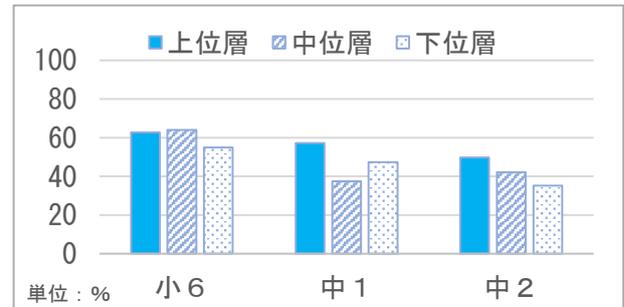
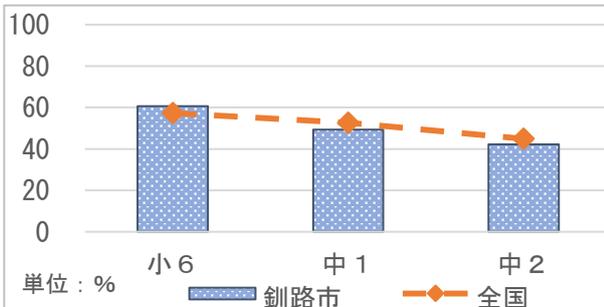
<クロス集計>



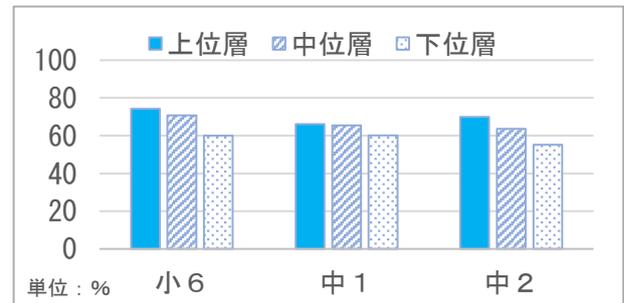
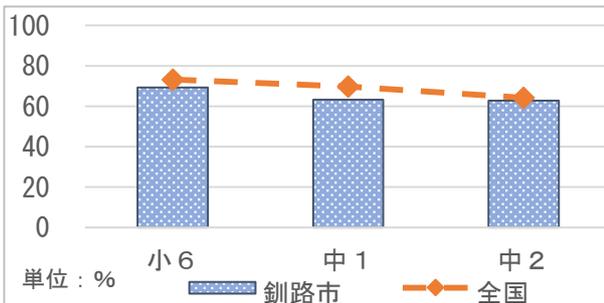
2 朝は、自分で起きている



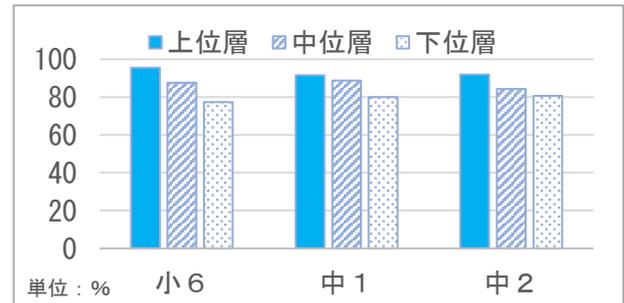
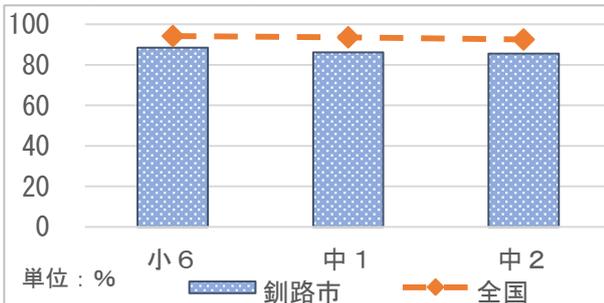
3 夜は、時刻を決めて寝ている



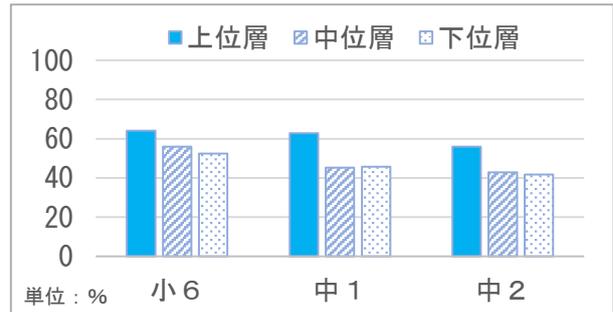
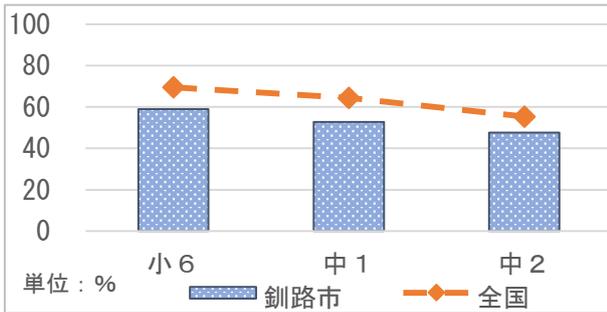
4 睡眠不足にならないようにしている



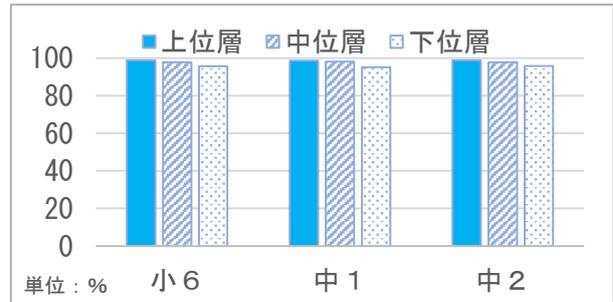
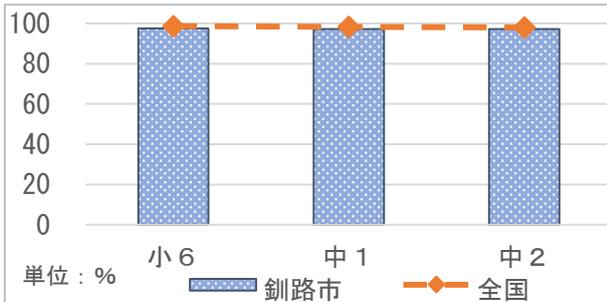
5 朝食をきちんと食べている



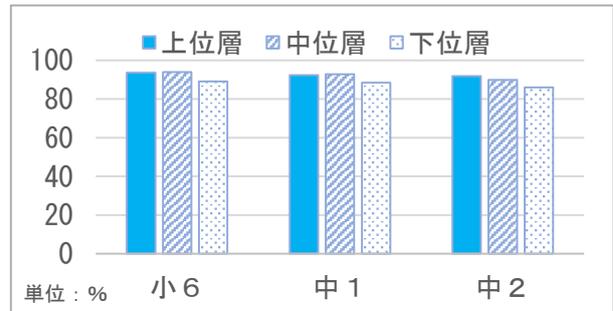
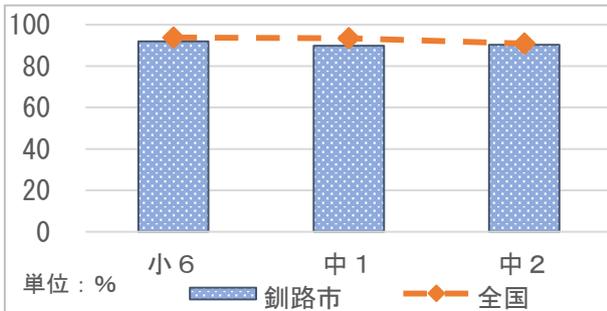
6 朝食は、家の人といっしょに食べている



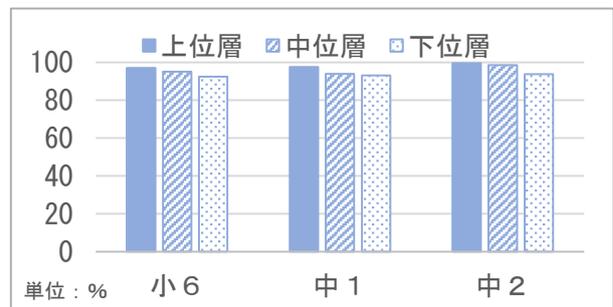
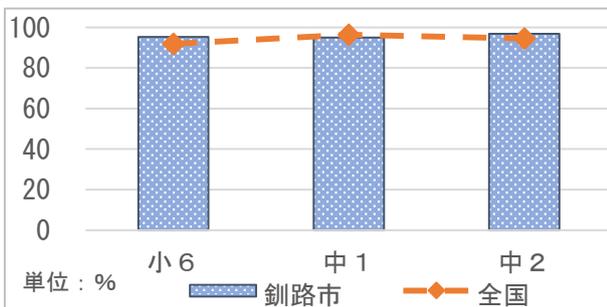
7 夕食をきちんと食べている



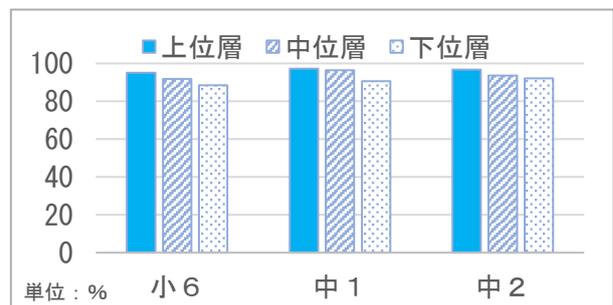
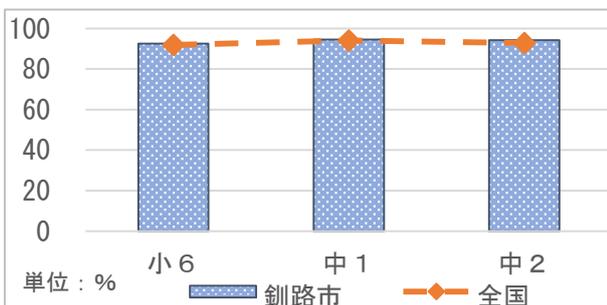
8 夕食は、家の人といっしょに食べている



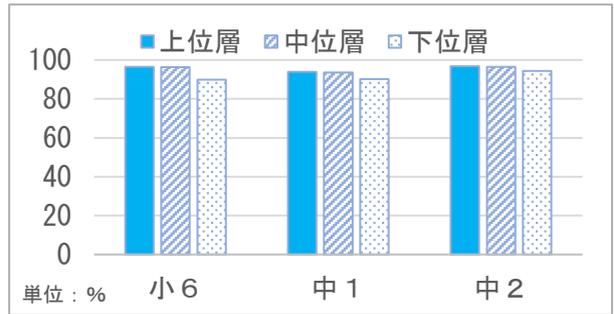
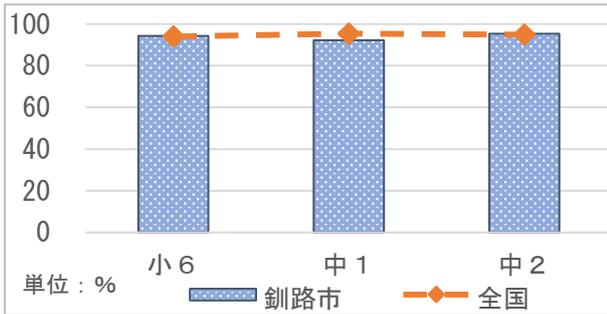
9 学校のきまりを守っている



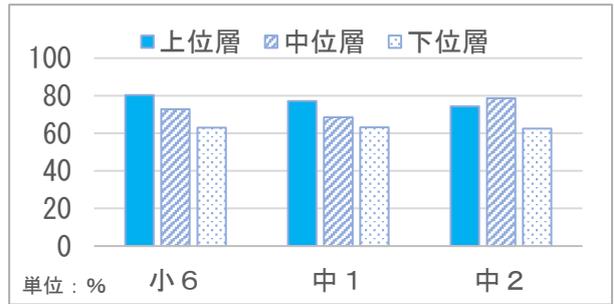
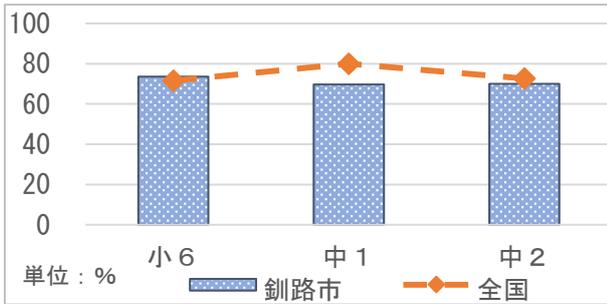
10 学校では、先生に挨拶をしている



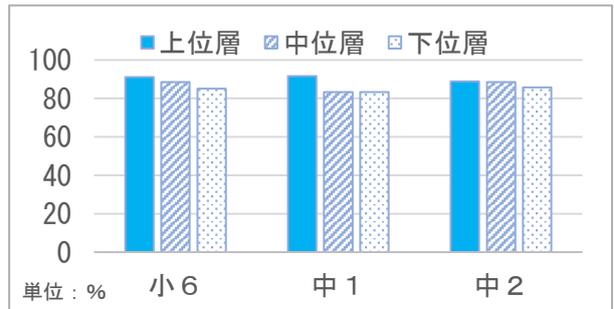
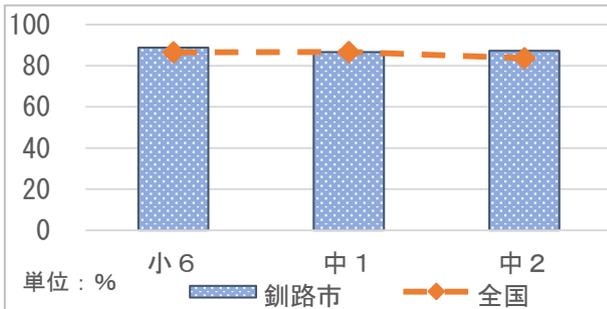
11 学校で使う物は、自分で用意している



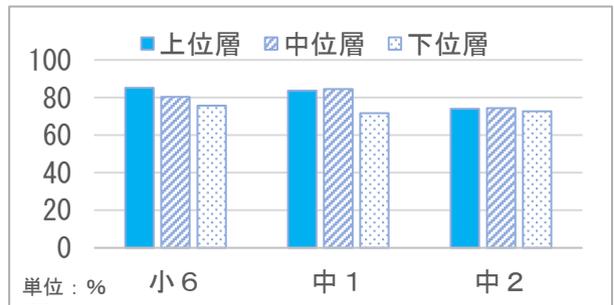
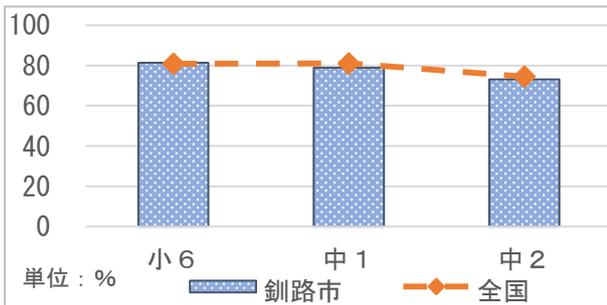
12 学校に出かける前に忘れ物がないか確かめている



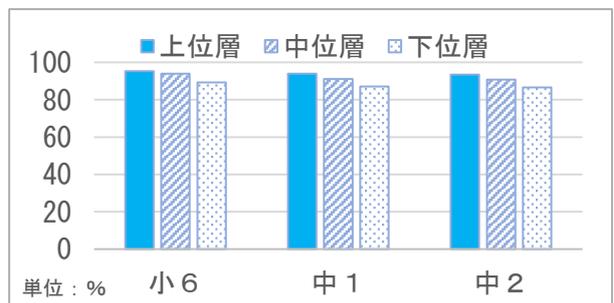
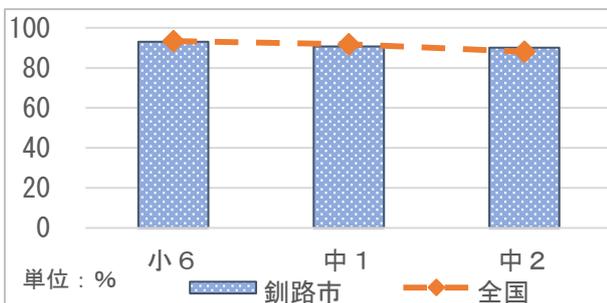
13 家の人と決めた約束やきまりを守っている



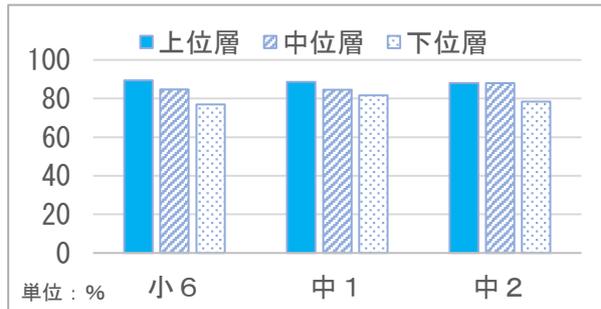
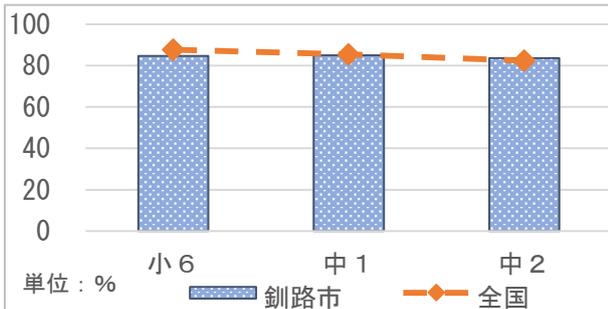
14 学校での出来事を、家の人に話している



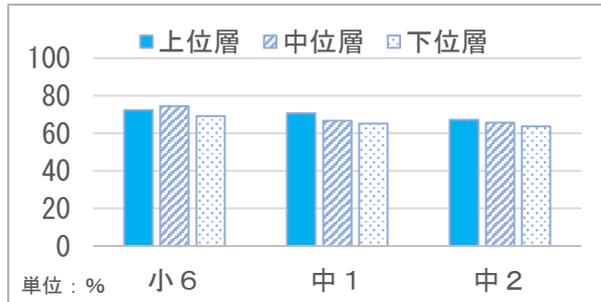
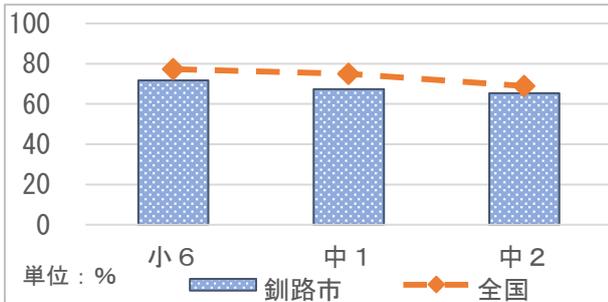
15 家の人に、「行ってきます」「ただいま」などの挨拶をしている



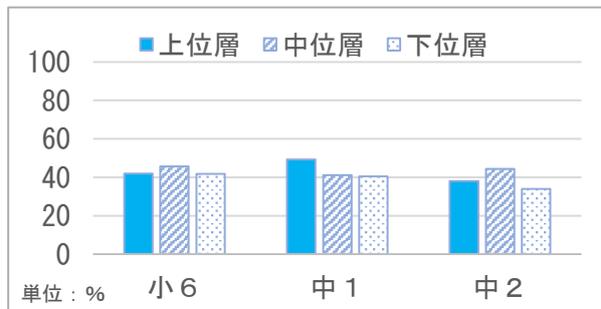
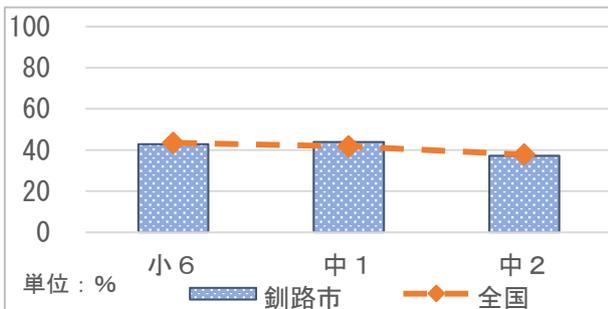
16 出かけるときは、家の人に行き先を言っている



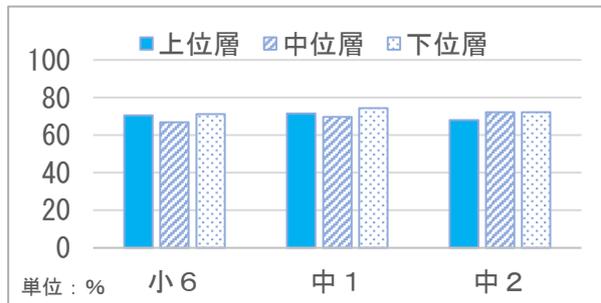
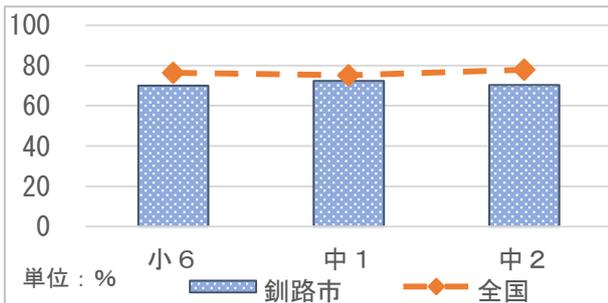
17 自分で時間を決めて、遊んでいる



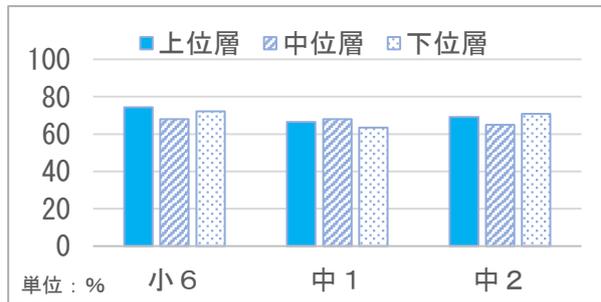
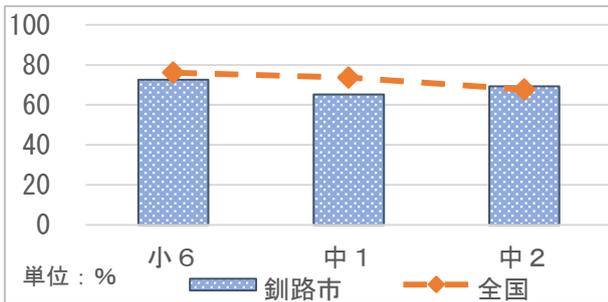
18 自分で時間を決めて、テレビを見ている



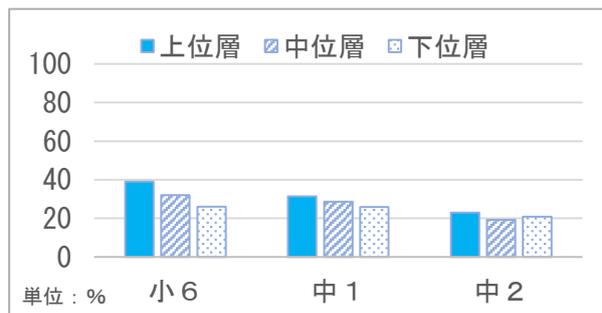
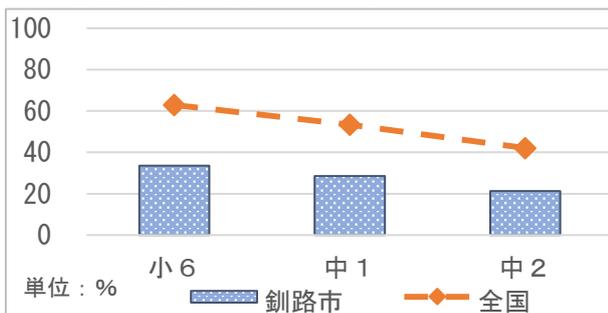
19 体育の授業のほかに運動をしている



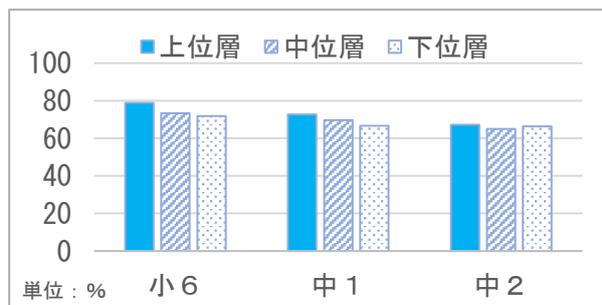
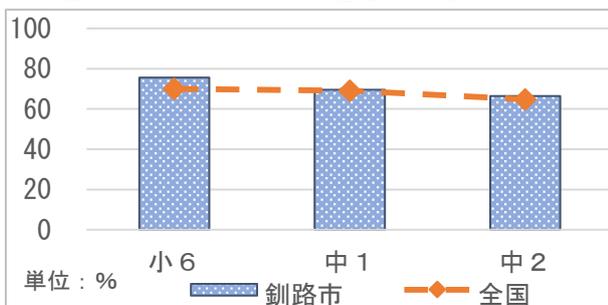
20 家の手伝い（ゴミ出しなど）をしている



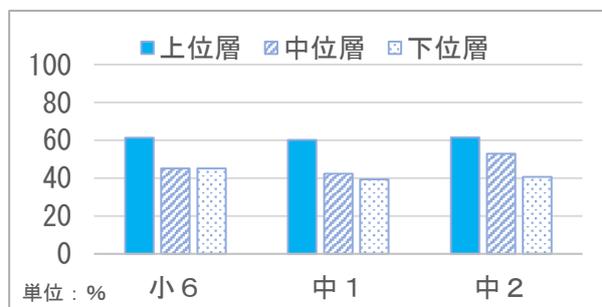
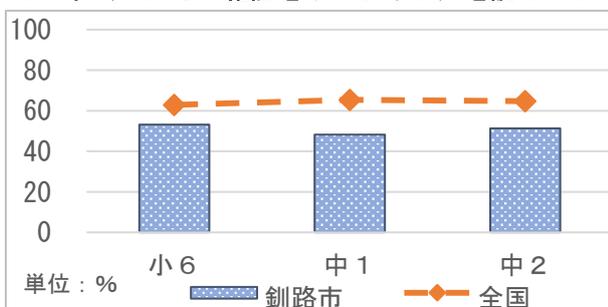
21 地域の行事に参加している



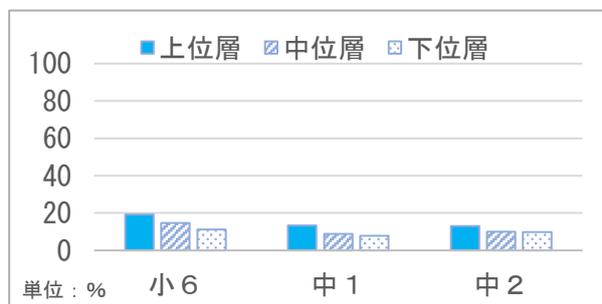
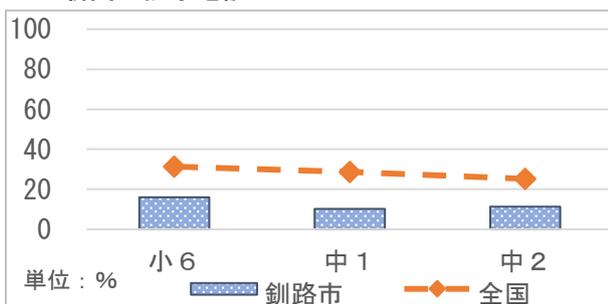
22 困っている人の手助けをしている



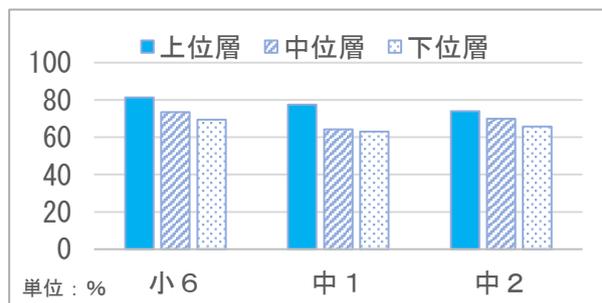
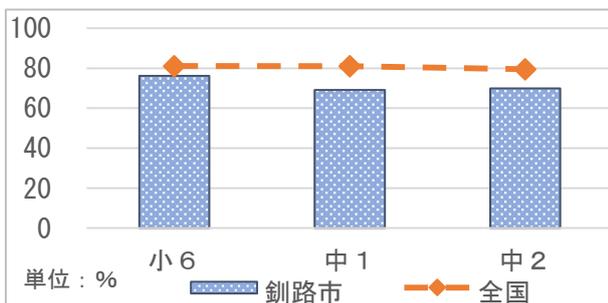
23 本（マンガや雑誌をふくまない）を読んでいる



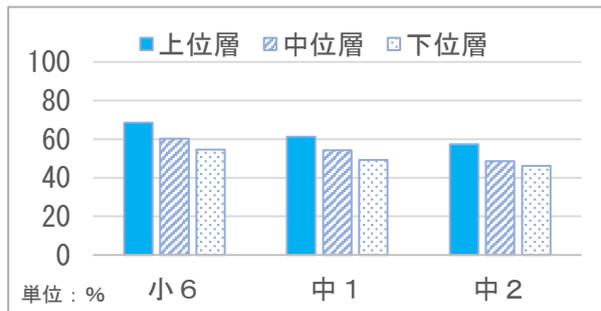
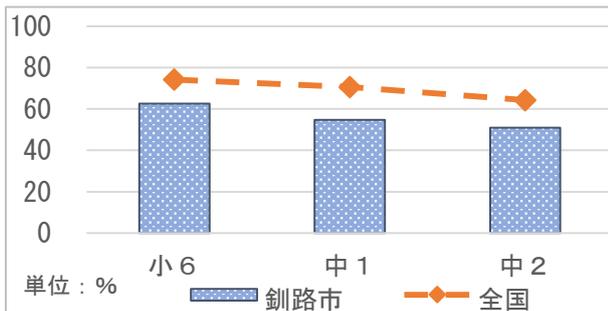
24 新聞の記事を読んでいる



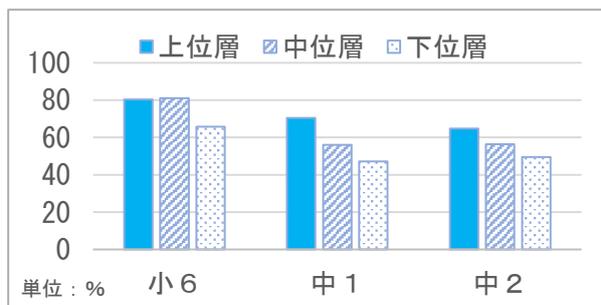
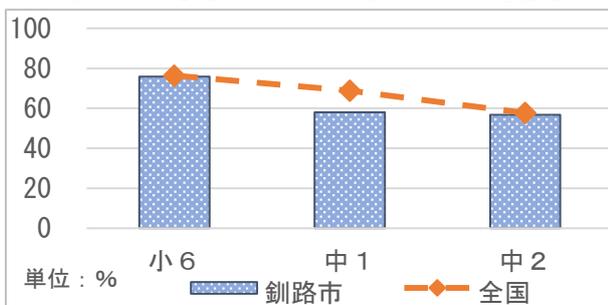
25 テレビのニュースを見ている



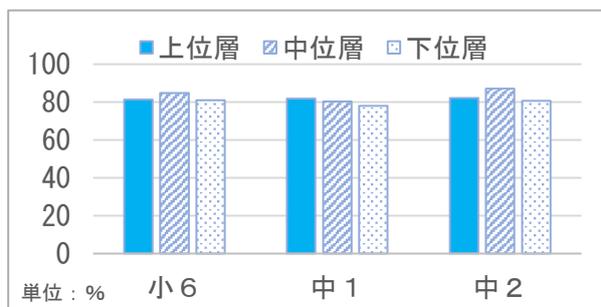
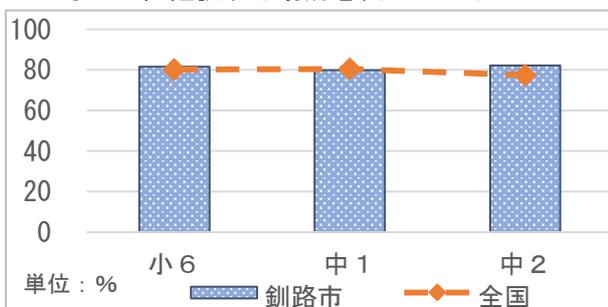
26 勉強に役立つテレビ番組（クイズ番組など）を見ている



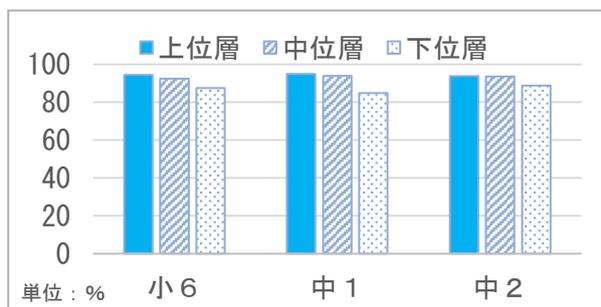
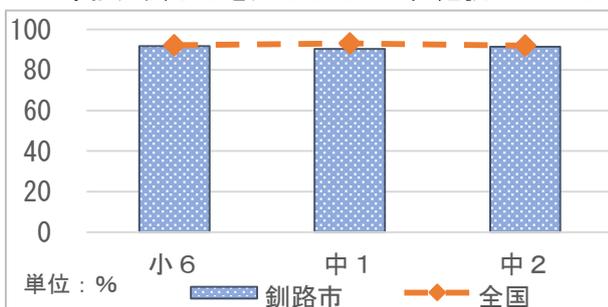
27 家の人から言われなくても、進んで勉強している



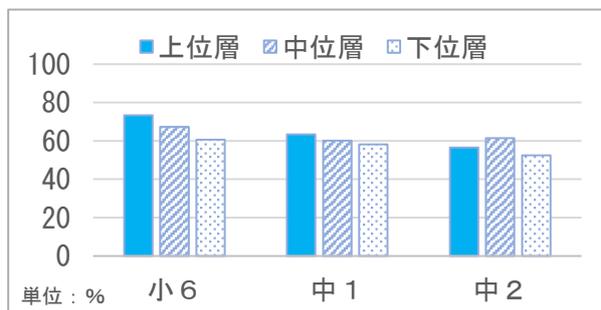
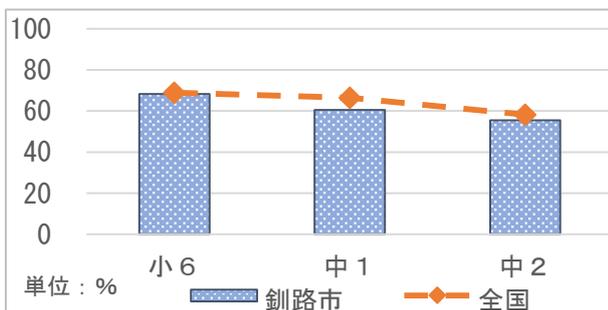
28 家では、勉強する場所を決めている



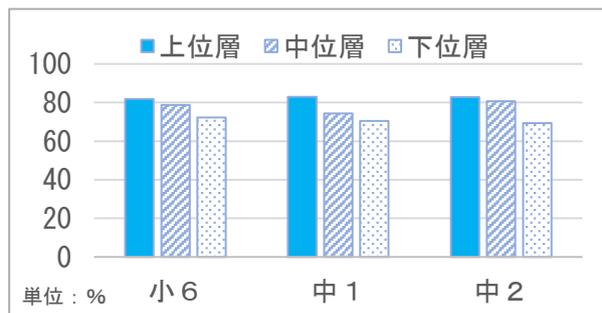
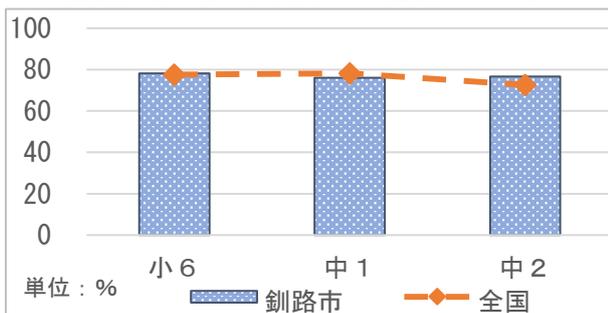
29 筆記用具などを用意してから、勉強している



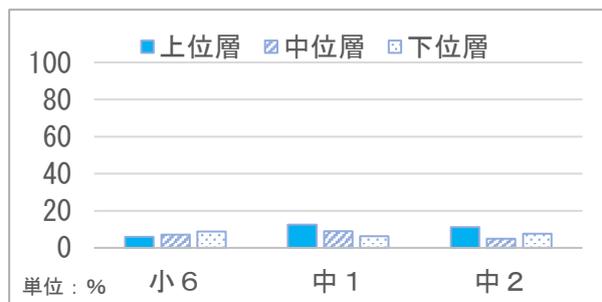
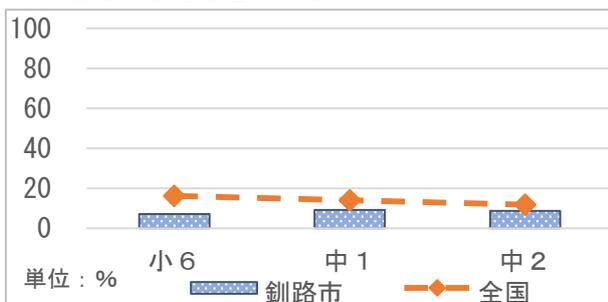
30 自分で勉強の計画を立てて、勉強している



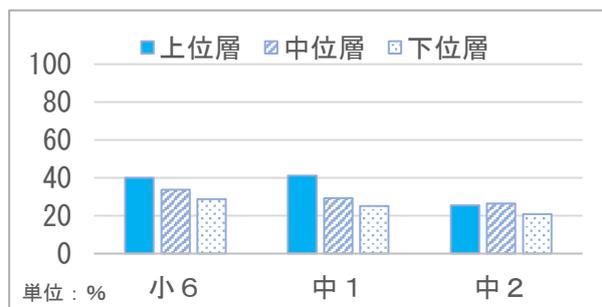
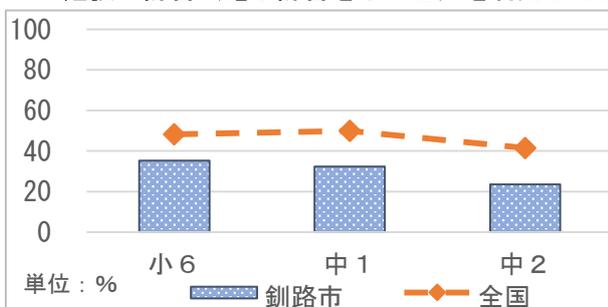
31 勉強するときは、集中して勉強している



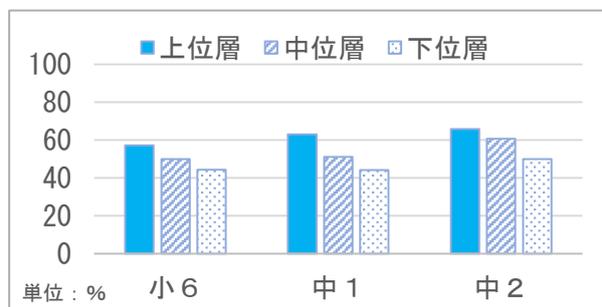
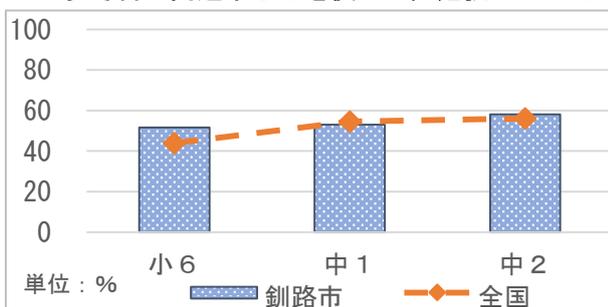
32 勉強に図書館を利用している



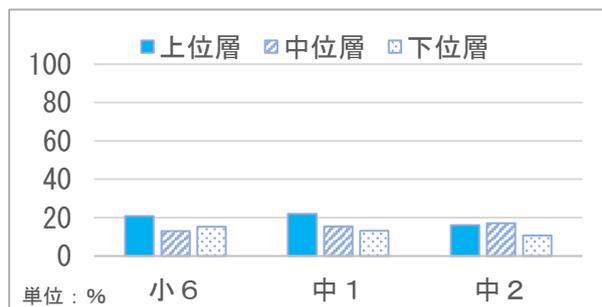
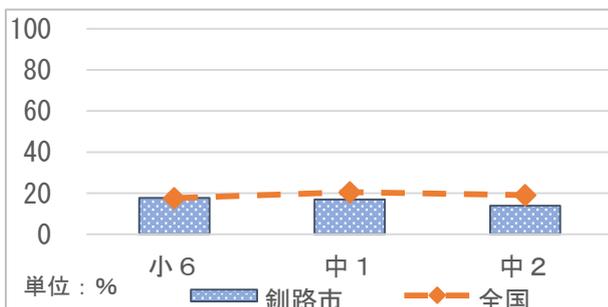
33 勉強に辞書（電子辞書をふくむ）を利用している



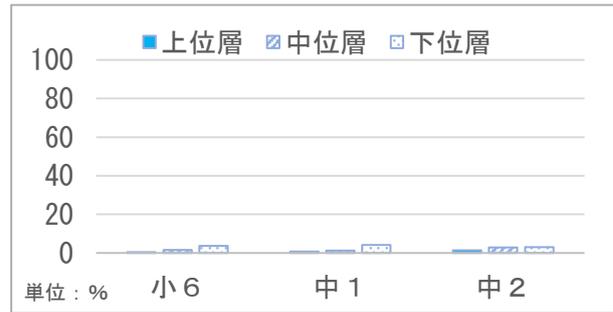
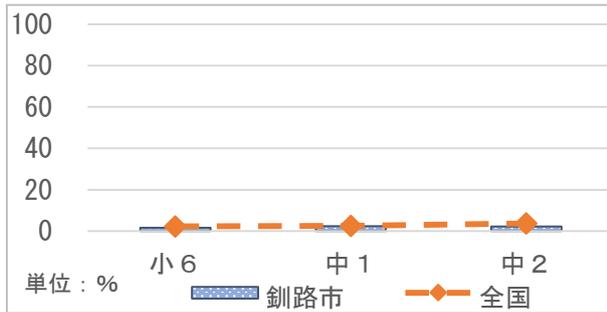
34 参考書や問題集などを使って、勉強している



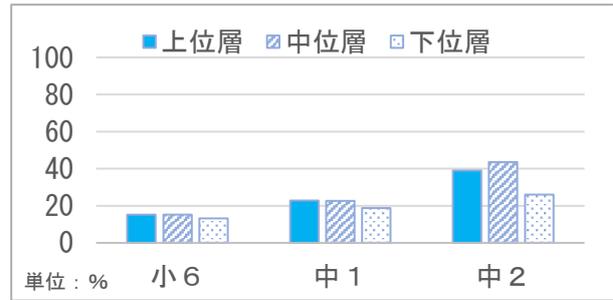
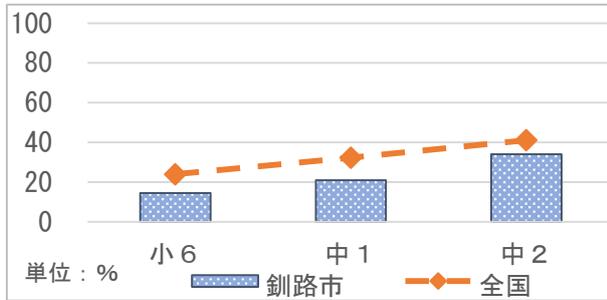
35 通信添削を利用して、勉強している



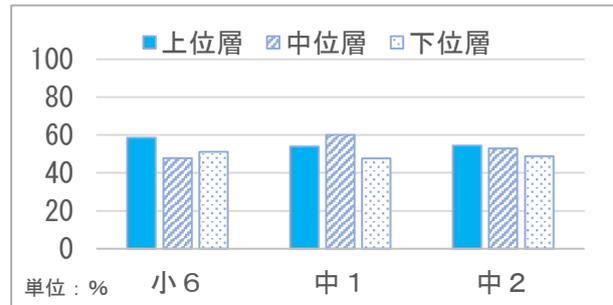
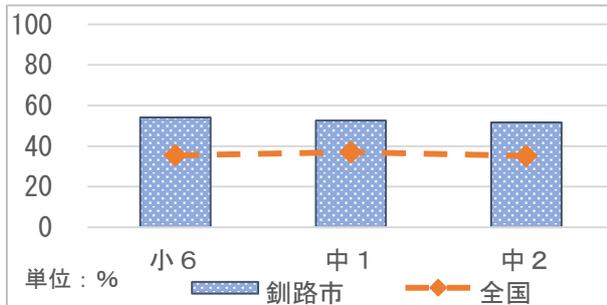
36 家庭教師に来てもらって、勉強している



37 学習塾に行つて、勉強している

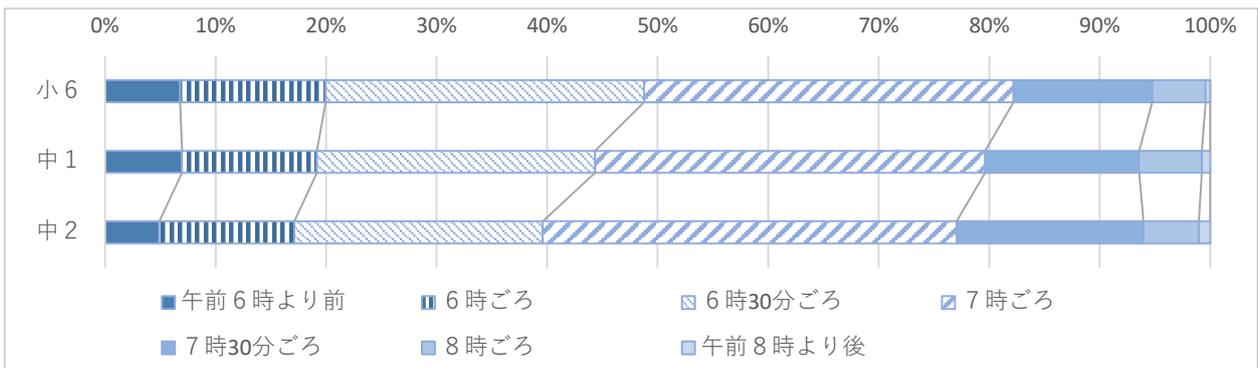


38 勉強にパソコン（インターネットをふくむ）を利用している

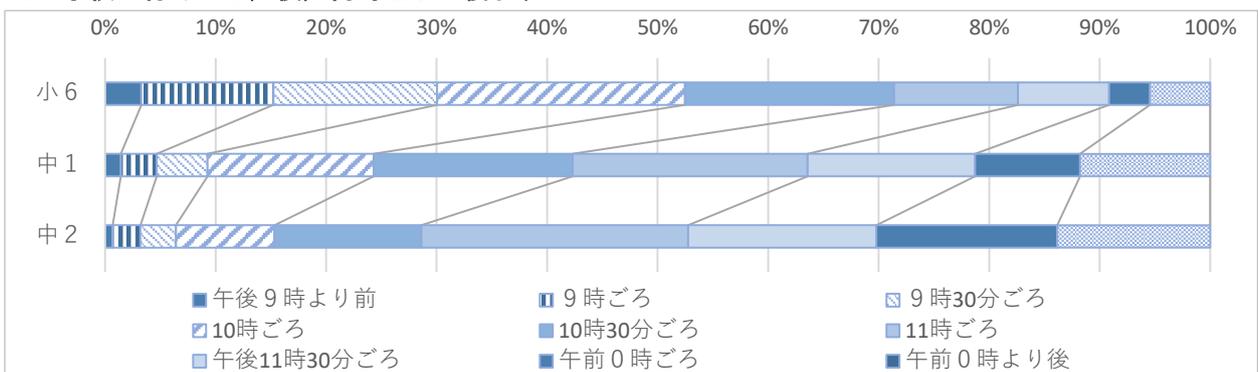


(2) 基本的な生活習慣等に関する項目

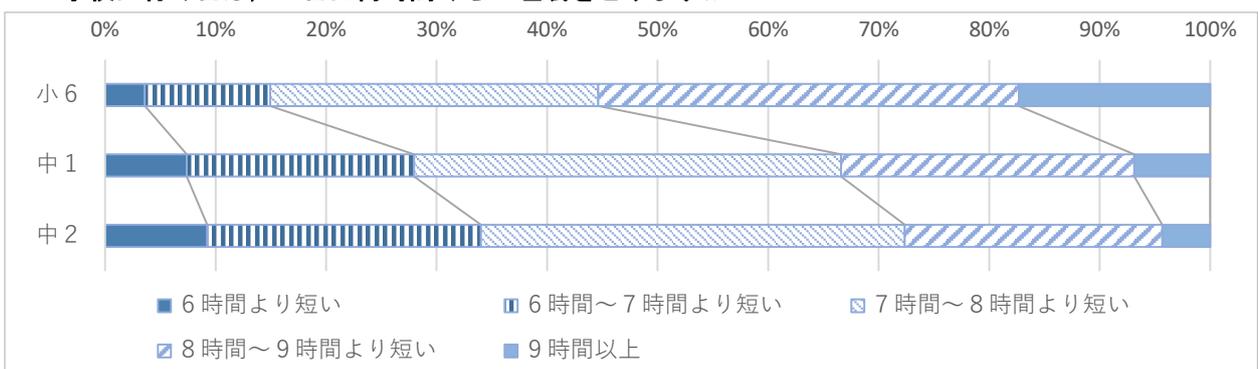
39 学校に行く日は、朝、何時ごろに起きますか



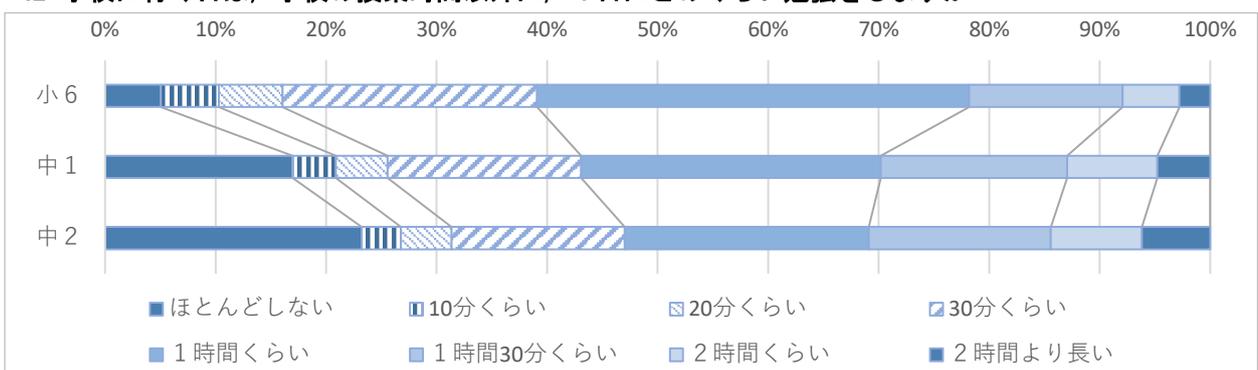
40 学校に行く日は、夜、何時ごろに寝ますか



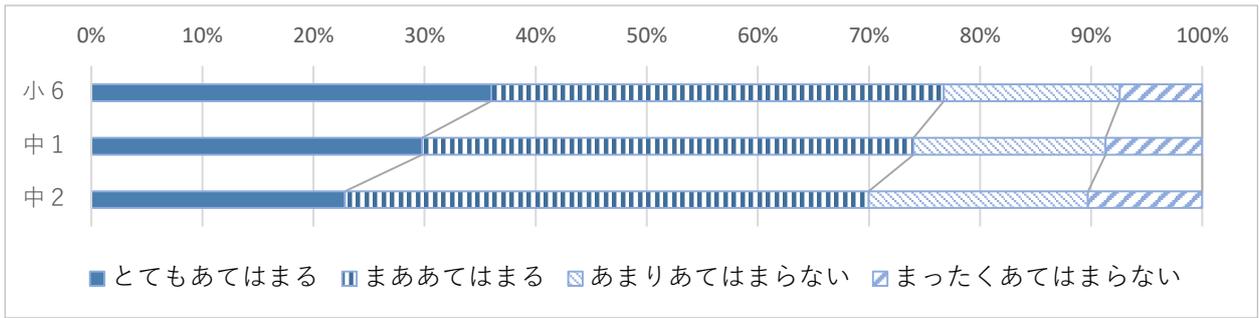
41 学校に行く日は、1日に何時間ぐらい睡眠をとりますか



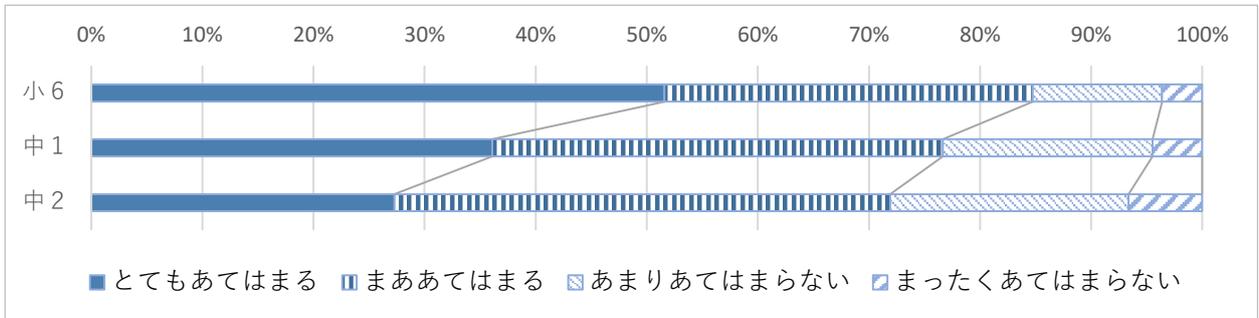
42 学校に行く日は、学校の授業時間以外に、1日にどのくらい勉強をしますか



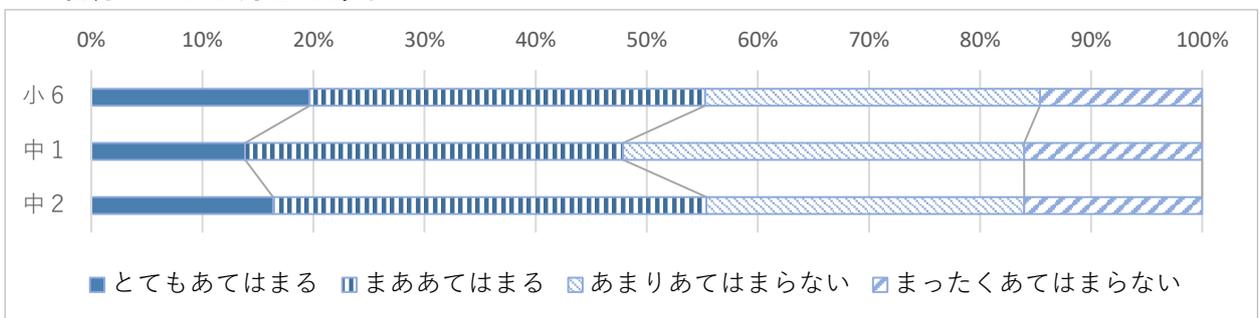
43 学校が好きである



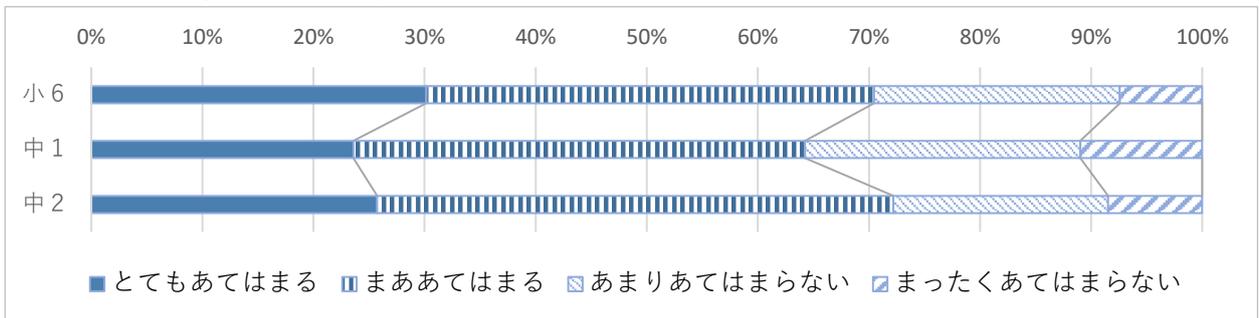
44 自分が住んでいる地域が好きである



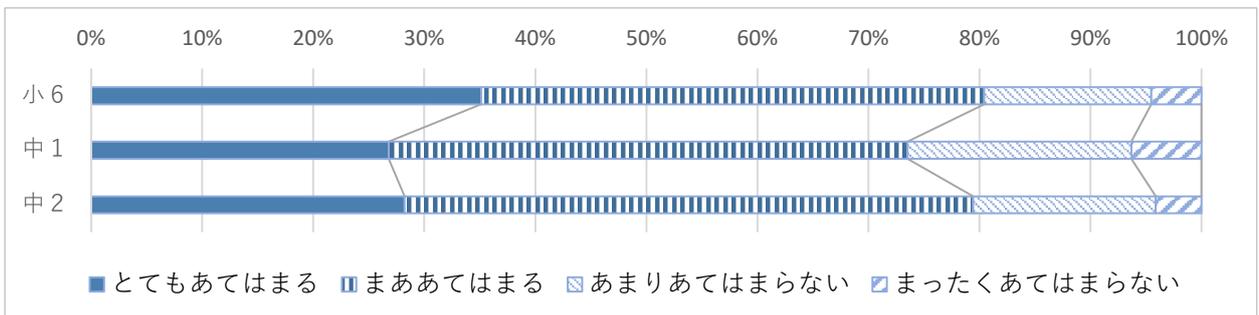
45 自分のことが好きである



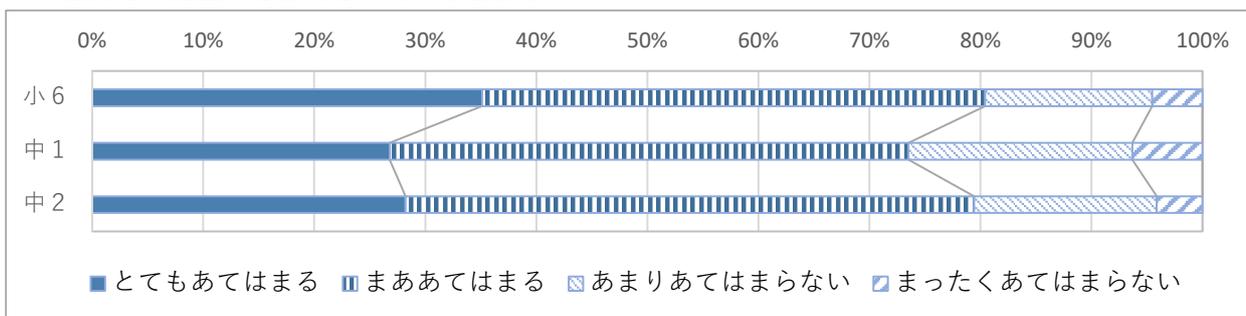
46 自分には、良いところがあると思う



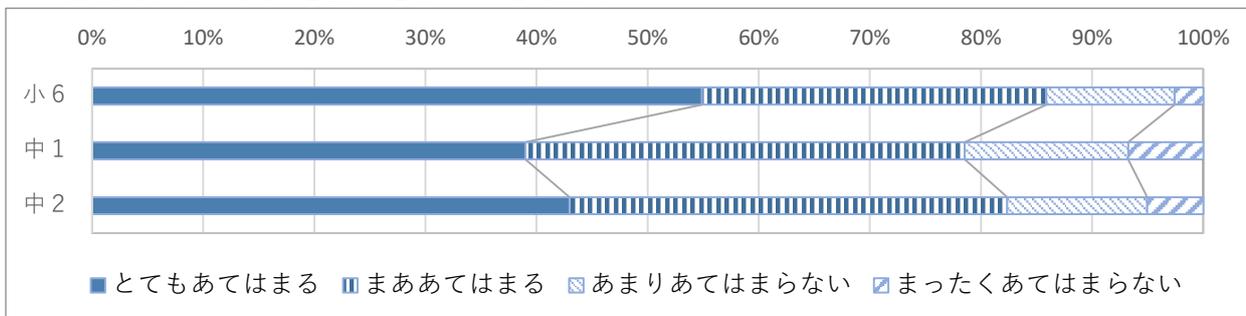
47 自分は、友だちから認められていると思う



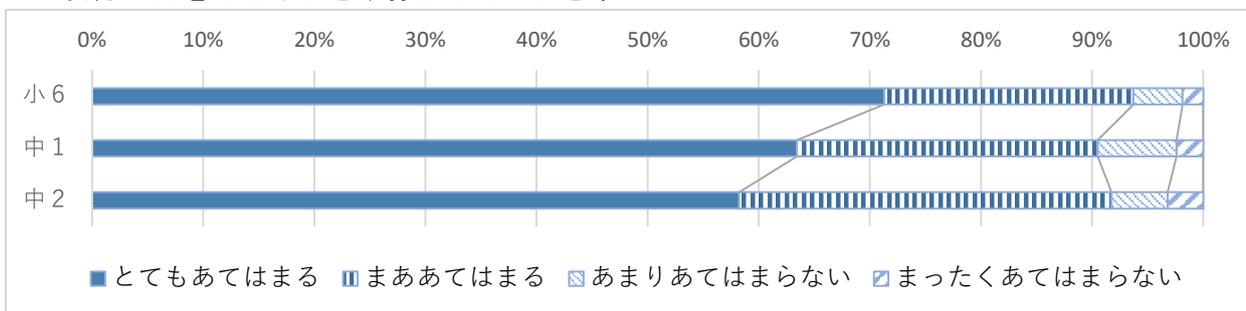
48 自分は、先生から認められていると思う



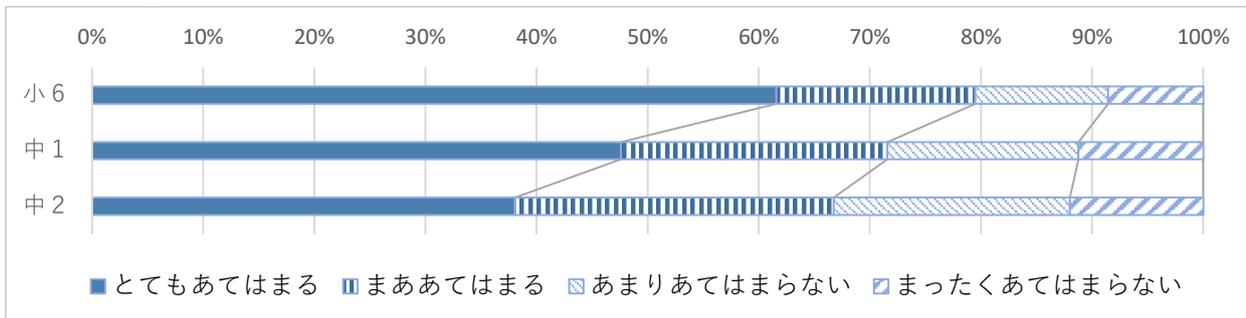
49 自分は、家の人から認められていると思う



50 自分の力をできるかぎり伸ばしたいと思う



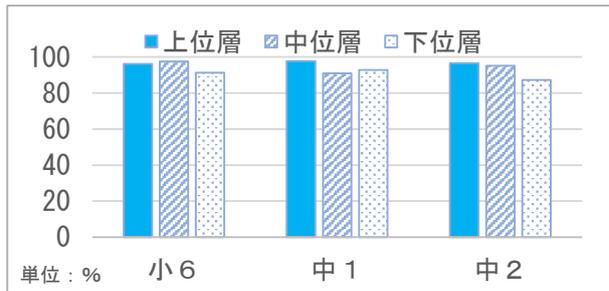
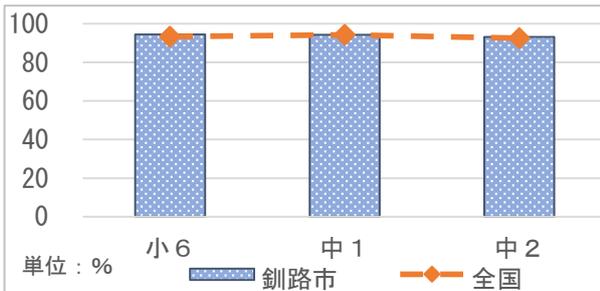
51 将来の夢や目標をもっている



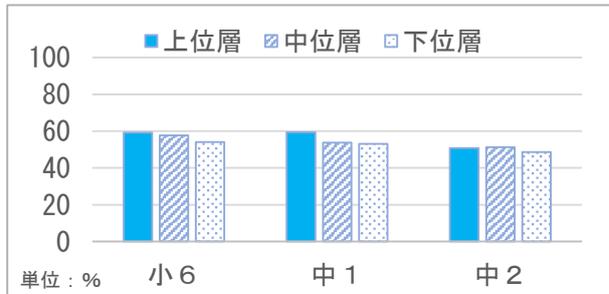
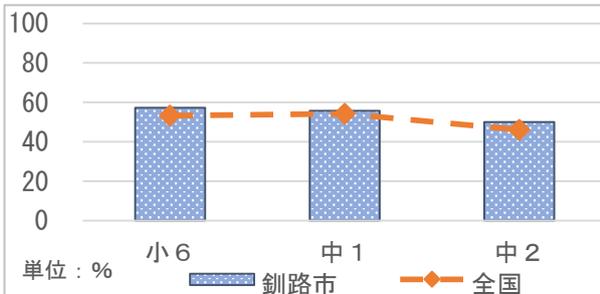
(3) 学習活動（国語）に関する項目

52 国語の授業では、先生の話をしっかり聞いている

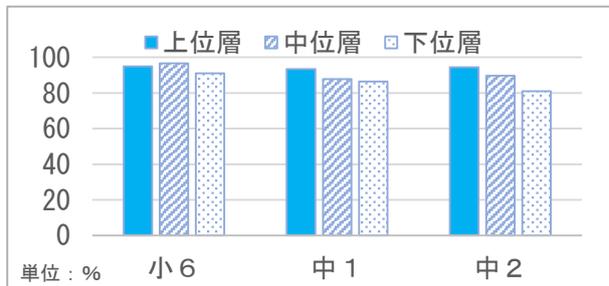
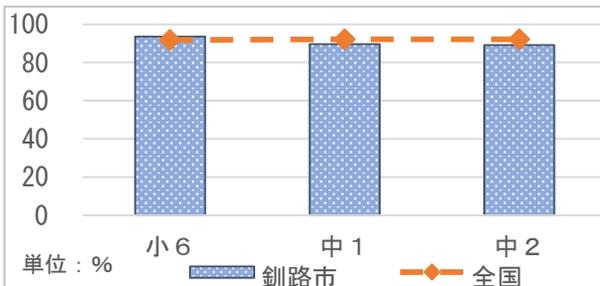
<クロス集計>



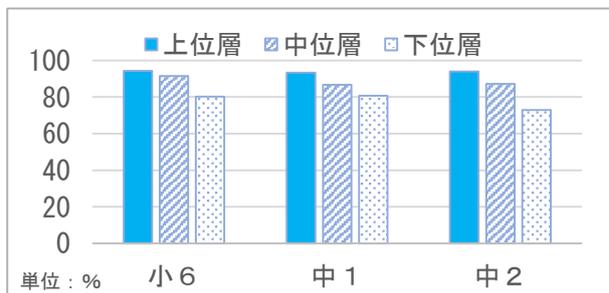
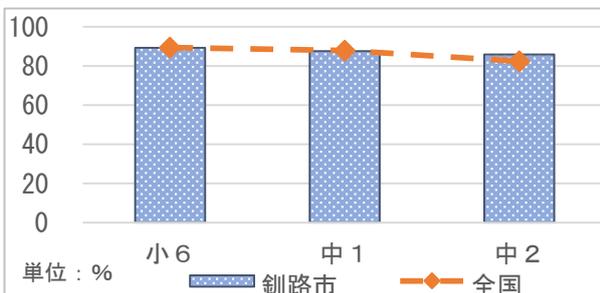
53 国語の授業で分からないことがあれば、先生に質問をしている



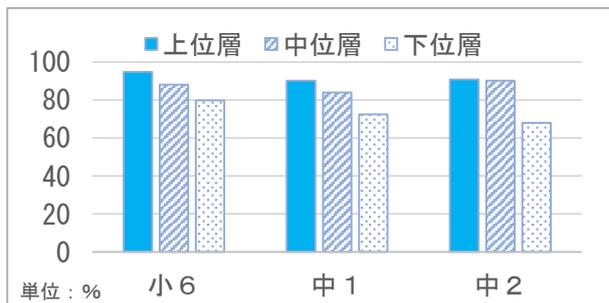
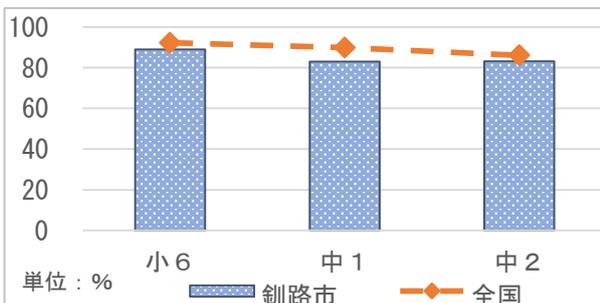
54 国語の授業では、きちんとノートをとっている



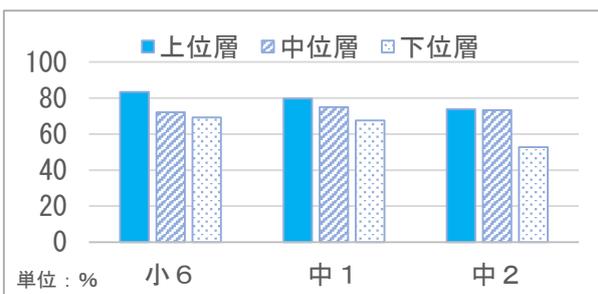
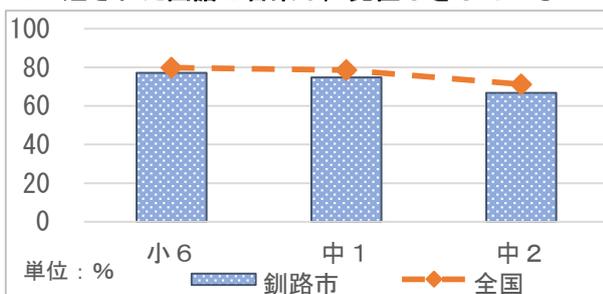
55 国語の授業は、分かって（理解して）いる



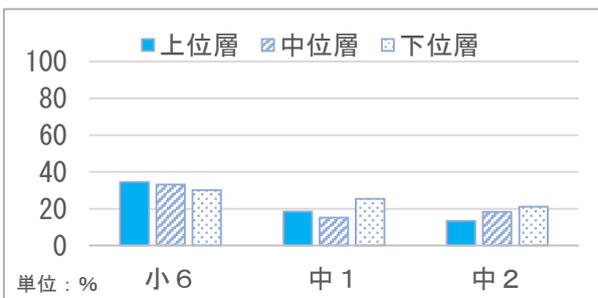
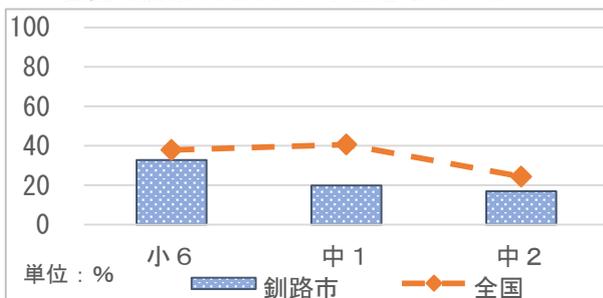
56 国語の宿題は、きちんとしている



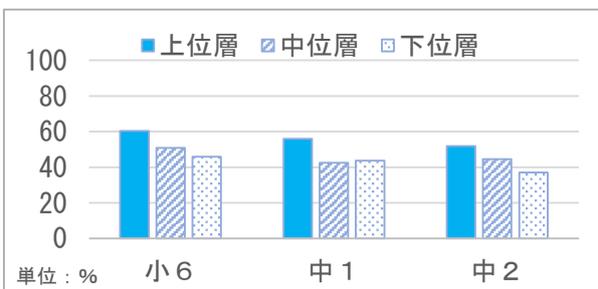
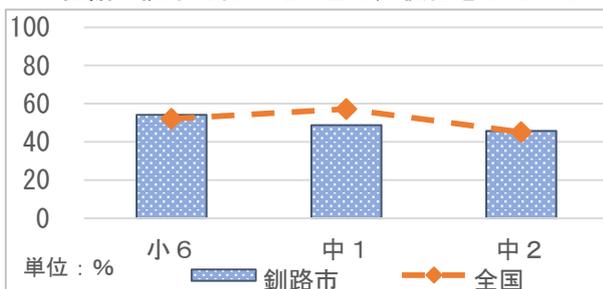
57 返された国語の答えは、見直しをしている



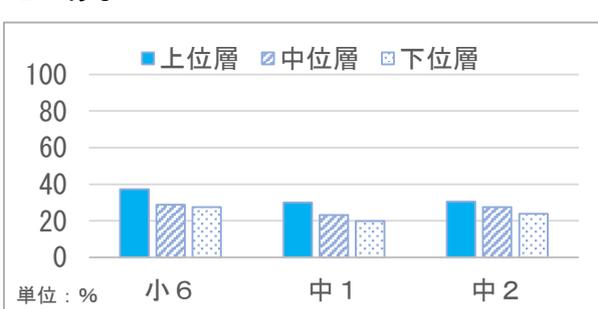
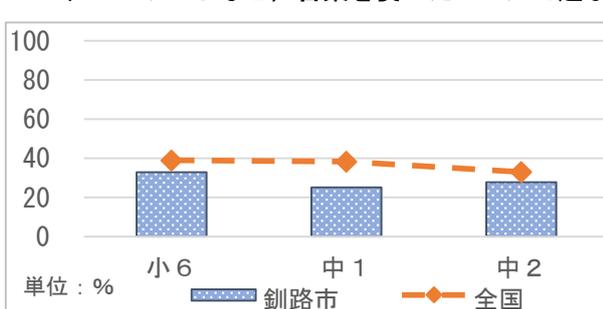
58 国語の授業のために、予習をしている



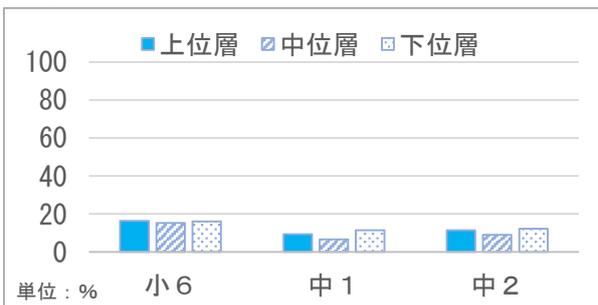
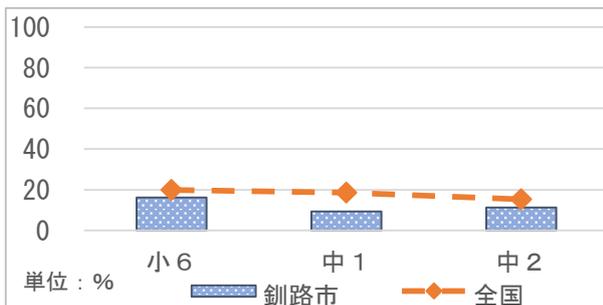
59 国語の授業で習ったことは、復習をしている



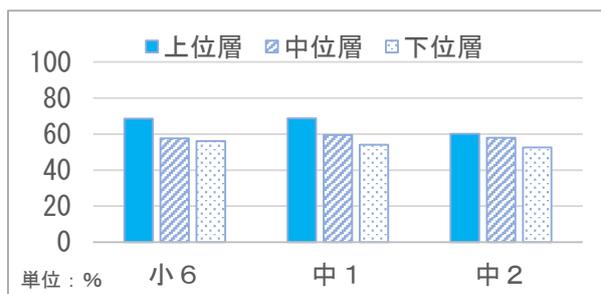
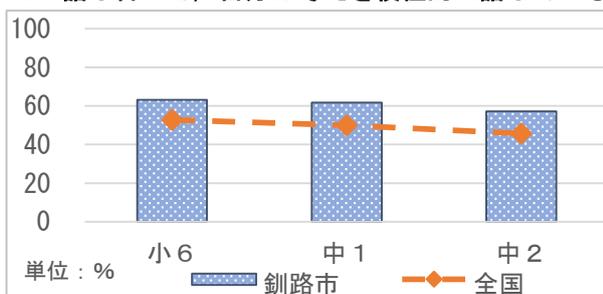
60 クロスワードなど、言葉を使ったパズルで遊ぶことがある



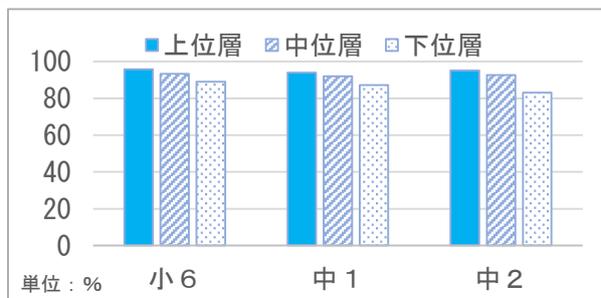
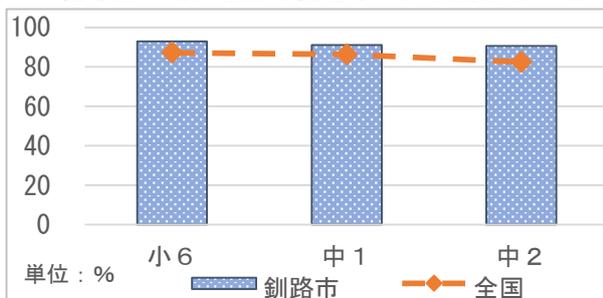
61 新聞記事などを、自分の考えと比べながら読んでいる



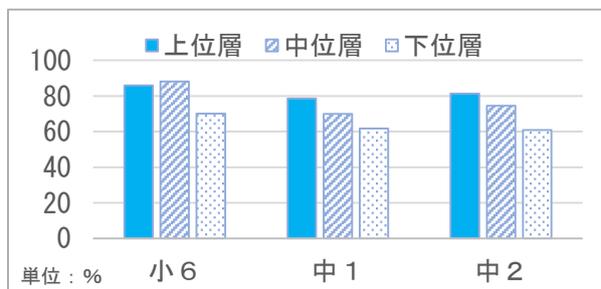
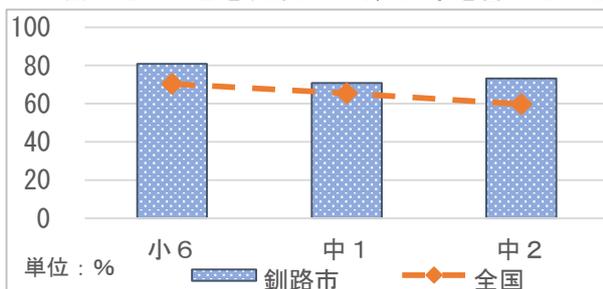
62 話し合いで、自分の考えを積極的に話している



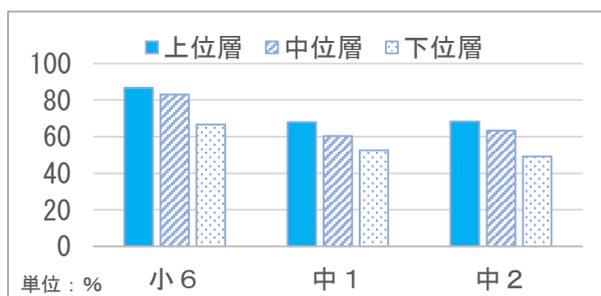
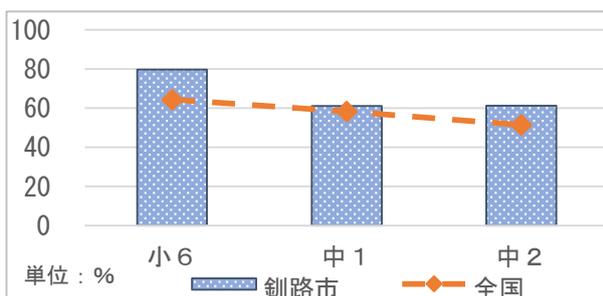
63 話し合いで、相手の話をしっかり聞き取っている



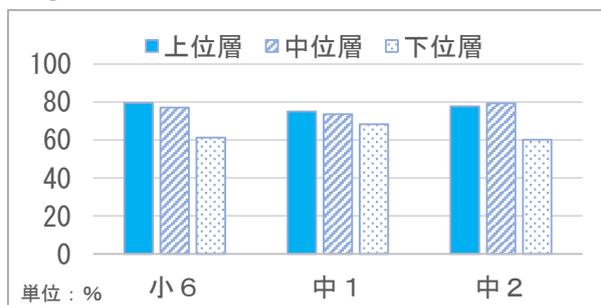
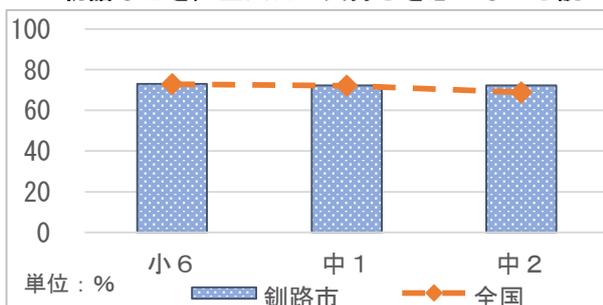
64 伝えたいことを明確にして、文章を書いている



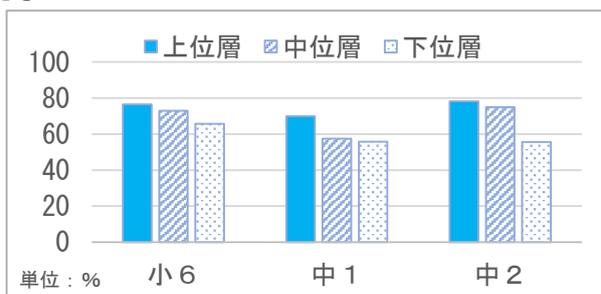
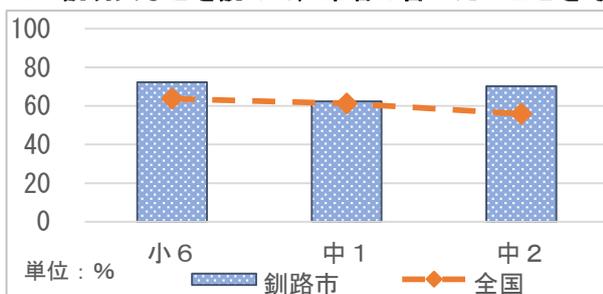
65 改行などの形式（論理や構成）を工夫して、文章を書いている



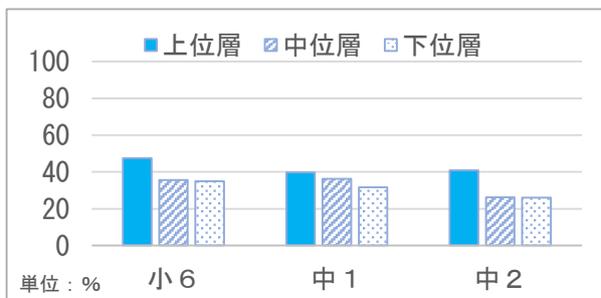
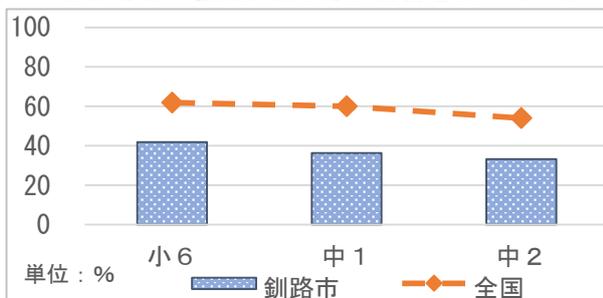
66 物語などを、主人公の気持ちを思いながら読んでいる



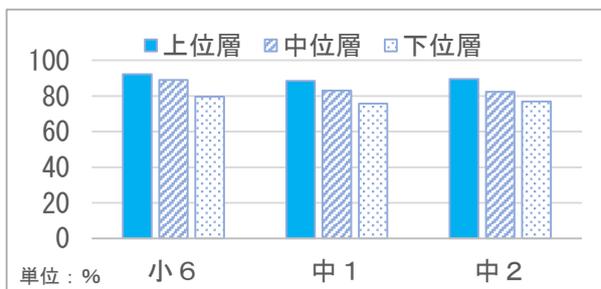
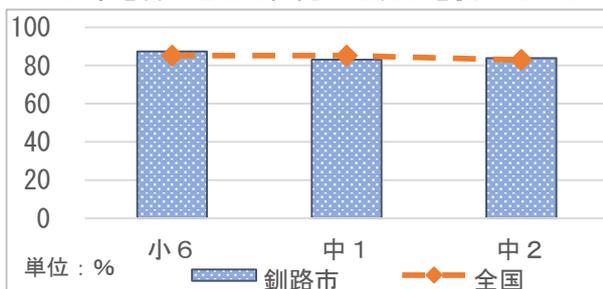
67 説明文などを読んで、筆者の言いたいことを考える



68 分からない言葉があれば、辞書を引いている



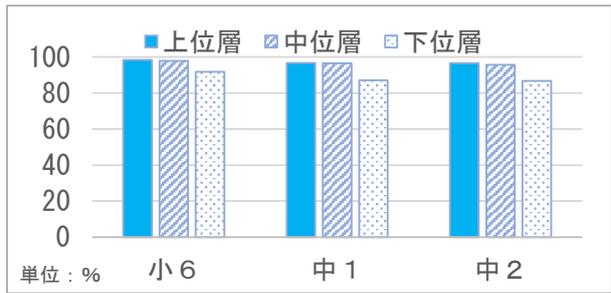
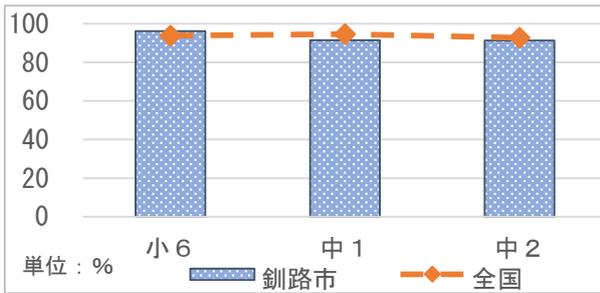
69 文章を書くときは、覚えた漢字を使っている



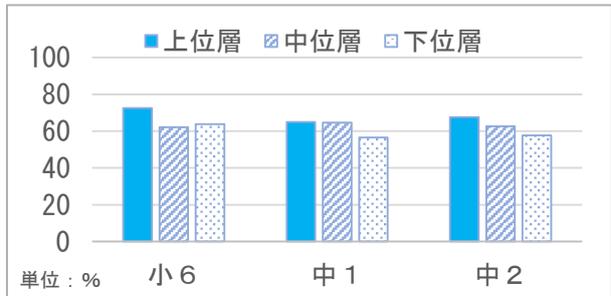
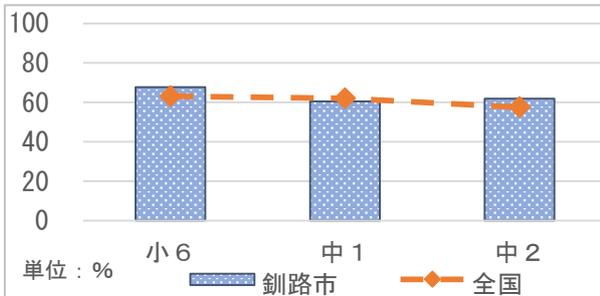
(3) 学習活動（算数・数学）に関する項目

70 算数（数学）の授業では、先生の話をしっかり聞いている

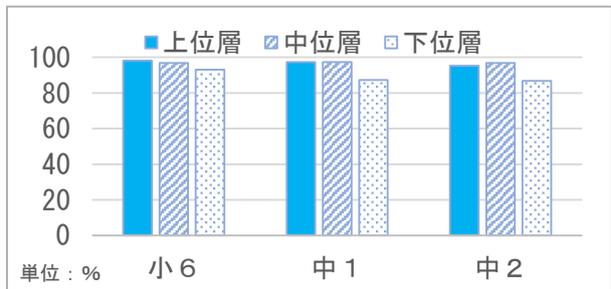
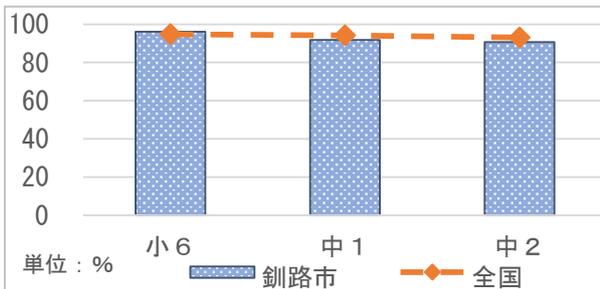
<クロス集計>



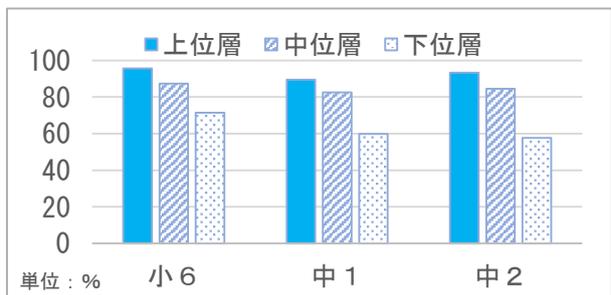
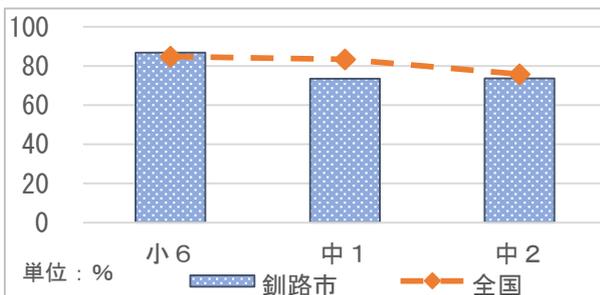
71 算数（数学）の授業で分からないことがあれば、先生に質問をしている



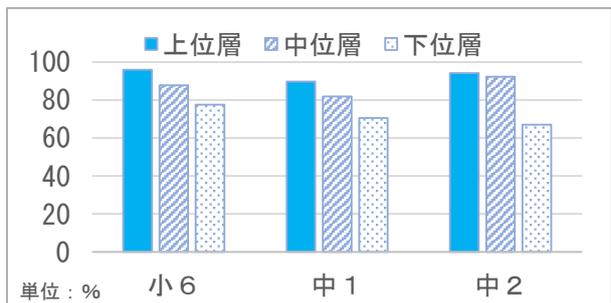
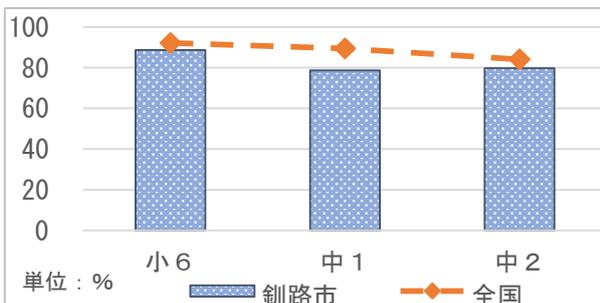
72 算数（数学）の授業では、きちんとノートをとっている



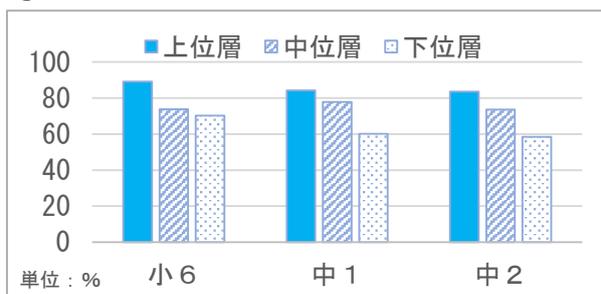
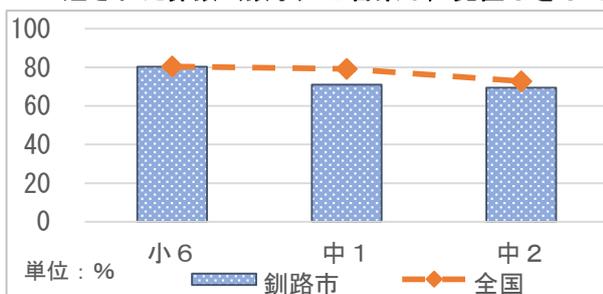
73 算数（数学）の授業は、分かっている



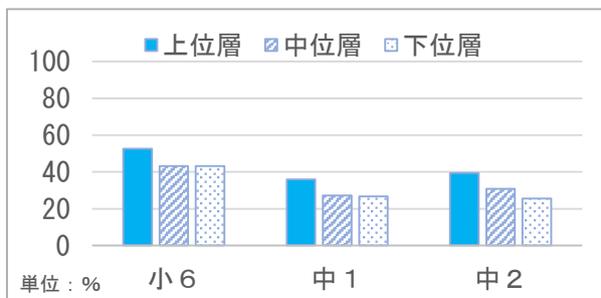
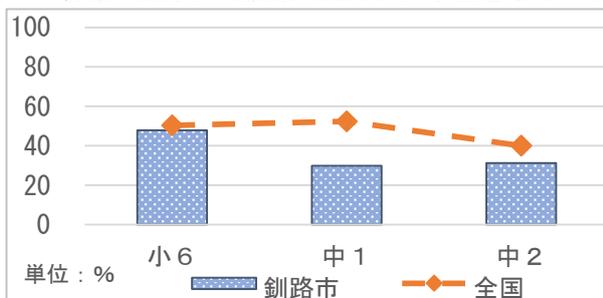
74 算数（数学）の宿題は、きちんとしている



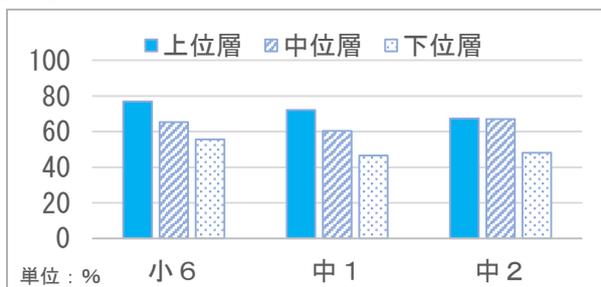
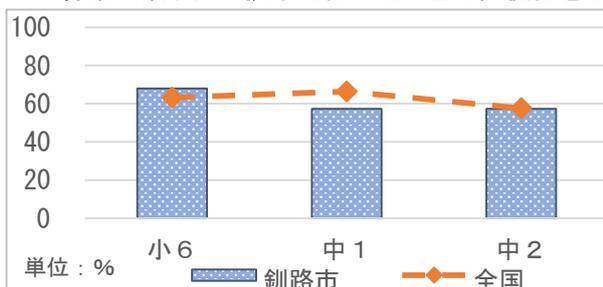
75 返された算数（数学）の答えは、見直しをしている



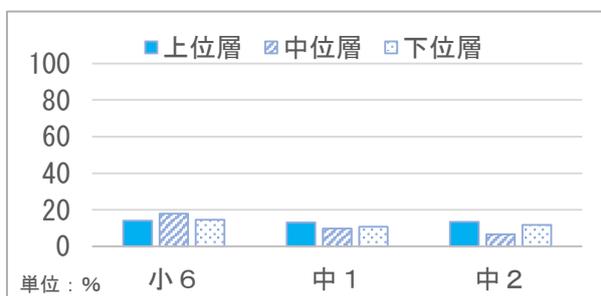
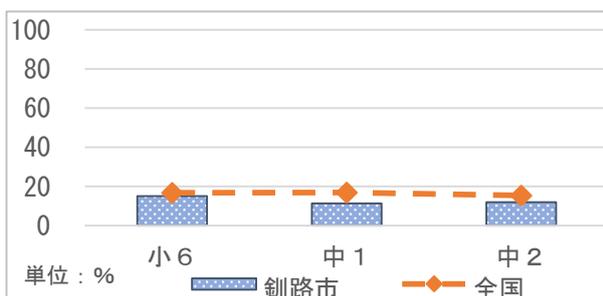
76 算数（数学）の授業のために、予習をしている



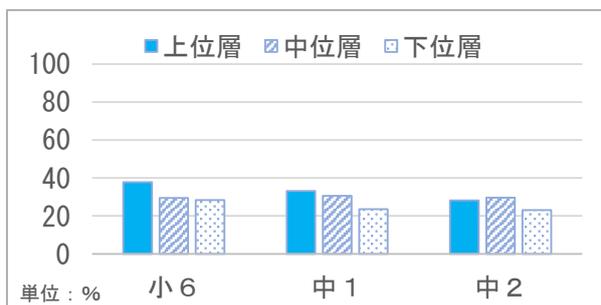
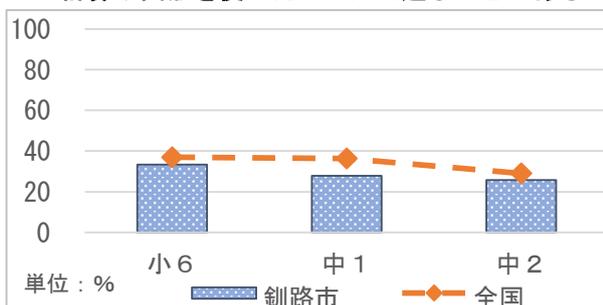
77 算数（数学）の授業で習ったことは、復習をしている



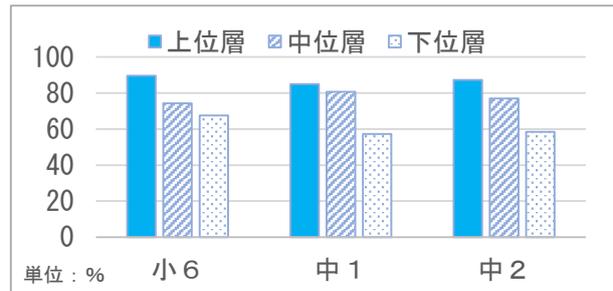
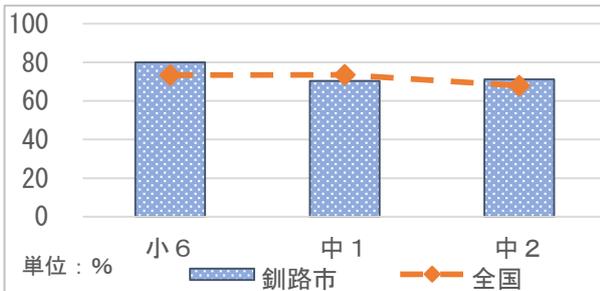
78 ソロバンをやっている（「やっていた」をふくむ）



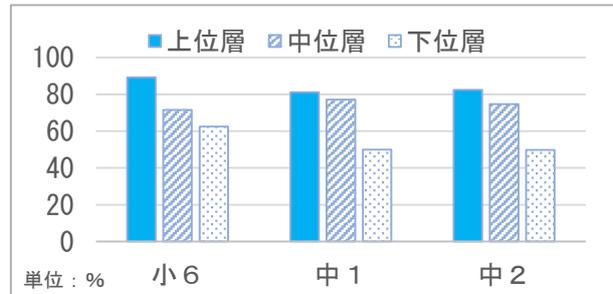
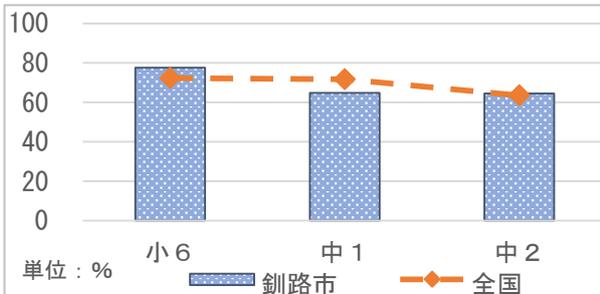
79 計算や図形を使ったパズルで遊ぶことがある



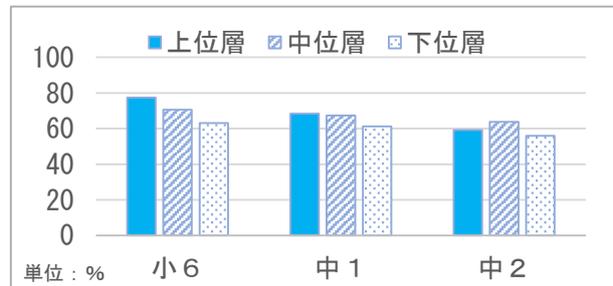
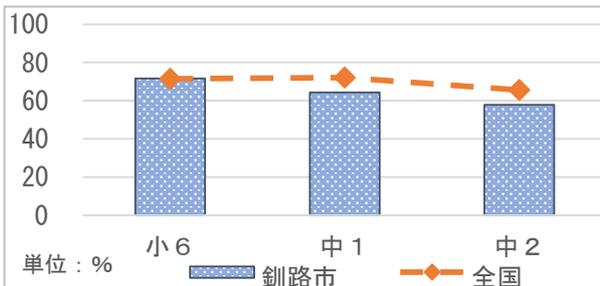
80 問題を解くときは、以前解いた方法が使えるかどうか考えている



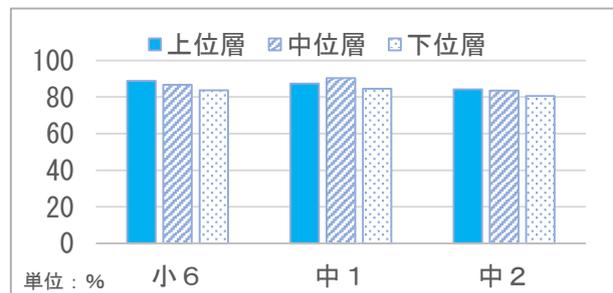
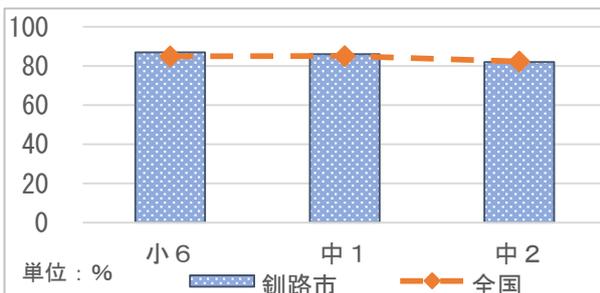
81 文章問題は、式や図に置きかえて考えている



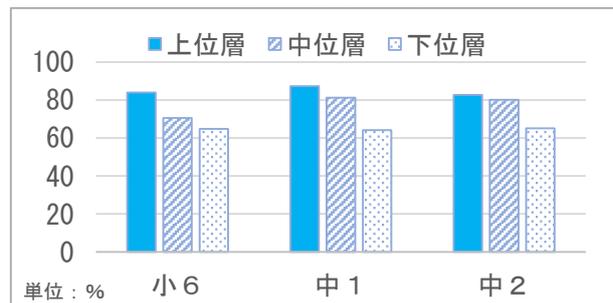
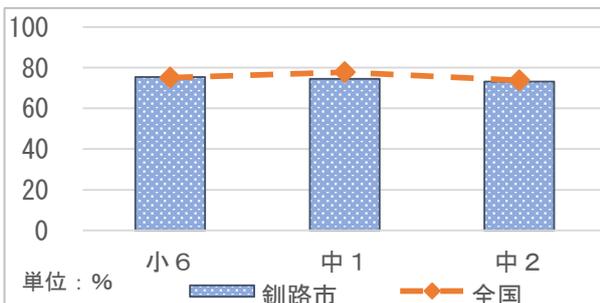
82 計算式は後から見て分かるように、正しくきれいに書いている



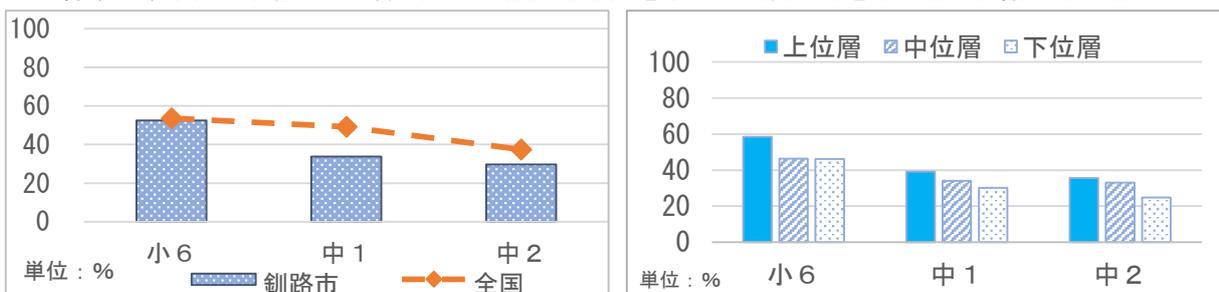
83 図や表をかくときは、定規などを使って正しくきれいにかいている



84 算数（数学）のテスト勉強をするときは、大事な部分がどこかを考えて勉強している



85 算数（数学）で学習した知識（公式・法則など）を家の人（友だちをふくむ）に話している



IV 本市の主な傾向（生活行動・学習活動調査結果より）

- 質問項目3「夜は、時刻を決めて寝ている」の質問について、肯定的に回答した児童生徒は、学年が上がるにつれて低下する傾向があることから、家庭における時間の使い方について、児童生徒が自ら生活リズムを見直すための指導を工夫する必要がある。
- 質問項目23「本（マンガや雑誌をふくまない）を読んでいる」や、質問項目24「新聞の記事を読んでいる」の質問について、肯定的に回答した児童生徒の割合は、いずれも全国平均を下回っており、読書習慣の定着に課題が見られる。また、成績層とのクロス集計を見ると、上位層の児童生徒ほど肯定的に答えている割合が高い傾向が見られる。
- 質問項目27「家の人から言われなくても、進んで勉強している」の質問について、学年が上がるほど下降する傾向が見られており、成績層とのクロス集計を見ると、上位層の児童生徒ほど、自ら進んで勉強している割合が高い。
- 質問項目38「勉強にパソコン（インターネットをふくむ）を利用している」の質問については、小、中学校ともに全国よりも高い頻度で活用している傾向が見られるが、授業中や家庭へ持ち帰った際の端末の利活用について、効果的な方法を工夫していく必要がある。
- 質問項目42「普段（月曜日から金曜日）の学校の授業時間以外に勉強する時間」について、「30分未満」または、「ほとんどしない」と回答した児童生徒の割合は、学年が上がるにつれて増加する傾向があり、全体の約40%に上っていることから、家庭学習の習慣化を図る取組を強化していく必要がある。
- 質問項目58・76「授業のために予習をしている」の質問について、肯定的に回答した児童生徒の割合は国語、算数・数学ともに全国平均を下回っている。また、質問項目59・77「授業のために復習をしている」の質問について肯定的に回答した児童生徒の割合は、中学1年生で国語、数学ともに全国平均を下回っている。小、中が連携して学校の授業と家庭学習の接続について工夫していくことが必要である。
- 質問項目62「話し合いで、自分の考えを積極的に話している」、質問項目63「話し合いで、相手の話をしっかり聞き取っている」について、小、中学校ともに肯定的な回答をした割合が、全国平均よりも高く、対話的な学びを意識した授業づくりを進めている傾向が見られる。今後は、他者の考えと共有したり、吟味したりするなど、思考を深める授業展開の工夫が求められる。
- 質問項目73「算数・数学における授業の理解度」について、肯定的な回答をした児童生徒は、小学6年生では全国よりも高い傾向にあるが、中学1、2年生で全国より下回っていることから、小、中連携において算数から数学になる過程で、より円滑な指導の接続が必要である。

くしろっ子 共に育てる 10 か条



- 1 早ね☆ 早おき☆ 朝ごはん
- 2 元気にあいさつ こんにちは
- 3 みんなでなかよく 外あそび
- 4 失敗おそれず レッツ・チャレンジ
- 5 時間をきめて しっかり勉強
- 6 授業とつながる おさらいノート
- 7 本と仲よし くしろっ子
- 8 楽しい食卓 親子の時間
- 9 言葉づかいは 心づかい
- 10 感謝を込めて ありがとう

このほかに家族で話し合って、
我が家の1か条を決めてみましょう！

釧路市 家庭教育

検索